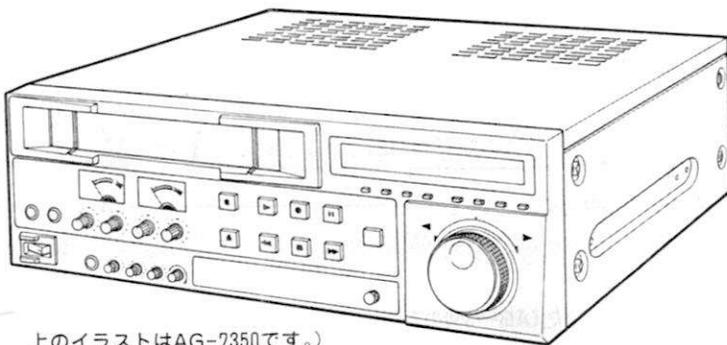


Panasonic

Hi-Fi 業務用ビデオ

品番 AG-**7350**/AG-**7150**

S VHS



上のイラストはAG-7350です。)

保証書別添

保証書は必ず「販売店・購入日」等の記入を確かめて、販売店よりお受取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

このビデオはS-VHS方式ビデオです。S VHS マーク、VHS マークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。

上手に使って上手に節電

ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

取扱説明書

目次	2
安全上のご注意	4
はじめに	8
各部の名称	9
各種スイッチ設定	15
基本操作	18
録画操作	25
再生操作	30
ダビング	33
タイムコード	37
アフレコ	38
オンスクリーン機能	40
別売品	46
エラー表示	48
機能解説	49
その他	53

目次

安全上のご注意

安全上のご注意	4
---------	---

各部の名称

前面パネル部	9
後面パネル部	13

各種スイッチ設定

スイッチ設定	15
1.CH2 METERスイッチ(AG-7350のみ)	15
2.AUDIO MONITORスイッチ	15
3.METERスイッチ	15
4.AUDIO OUTスイッチ	15
5.SENSOR RECスイッチ(AG-7350のみ)	16
6.EXT TIMERスイッチ	16
7.MODE LOCKスイッチ	16
8.INPUTスイッチ(AG-7350のみ)	17
9.SYNCスイッチ	17

基本操作

録画のしかた(AG-7350のみ)	28
再生のしかた	20
早送り・巻戻し・停止・一時停止のしかた	22
サーチ操作のしかた	23
MEMORY STOP機能について	24

録画操作

センサー録画のしかた(AG-7350のみ)	25
タイマー録画のしかた(AG-7350のみ)	26
カメラ録画のしかた(AG-7350のみ)	28

再生操作

タイマー再生のしかた	30
リピート再生のしかた	32

ダビング

ダビングのしかた	33
----------	----

タイムコード

タイムコード信号について ————— 37

アフレコ

音声のアフレコのしかた (AG-7350のみ) ————— 38

オンスクリーン機能

オンスクリーン(メモリ)機能について ————— 40

オンスクリーン(初期設定)機能について ————— 42

別売品

コントローラ(別売品)との接続について ————— 46

ラックマウントアダプタ(別売品) ————— 47

エラー表示

エラー表示について ————— 48

機能解説

コネクタの信号について ————— 49

機能解説 ————— 50

その他

付属品と別売品のご紹介 ————— 53

カセットテープについて ————— 54

日常点検について ————— 55

故障かな?と思う前に…ちょっと! ————— 56

アフターサービス ————— 57

定 格 ————— 60

安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

設置について



警告

■不安定な場所に置かない!



禁止

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

■電源コード上に重い物を乗せない!



禁止

本機の下敷にならないよう注意してください。
コードが傷ついて、火災・感電をおこすおそれがあります。

■水場に設置しない!



水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください。

警告

異常時の処理について

■本機を落としたり、破損した場合は電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがあります。

電源プラグを抜く

■本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがあります。

電源プラグを抜く

■本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、感電・事故をおこすおそれがあります。

電源プラグを抜く

●お買い上げの販売店にご相談ください。

■煙が出ている、変なおいや音がする等の異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



火災・感電の原因となります。

●お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

電源プラグを抜く

■電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する！



そのまま使用すると、火災・感電をおこすおそれがあります。

●お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

使用方法について

■本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！



禁止

こぼれて、本機内部に入ると、故障や事故をおこすおそれがあります。

■機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！



禁止

火災・感電の原因となります。

■本機を改造しない！



分解禁止

火災・感電の原因となります。

■水場で使用しない！



水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

■本機の裏フタ・キャビネット・カバー等はずさない！



分解禁止

感電の原因となります。

●点検・整備・修理は販売店にご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

警告

使用方法について

■電源コードを

- 加工しない!
- 傷つけない!
- 無理に曲げない!
- ねじらない!
- 引っ張らない!
- 加熱しない!



火災・感電の原因となります。

禁止

■機器がぬれたり、水が入らないようにする!



火災・感電をおこすおそれがあります。雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

禁止

■表示された電源電圧以外は使用しない!



火災・感電のおそれがあります。

禁止

安全上のご注意

設置について

注意

■電源コードを熱器具に近づけない!



コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■油煙や湯気が当たる場所に置かない!



火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■湿気やほこりの多い場所に置かない!



火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■ぬれた手でプラグを抜き差ししない!



感電の原因となる場合があります。

禁止

■プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らない!



コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

■本機の通風孔をふさがない!



通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

- 本機を風通しの悪い所に押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。

禁止

■電源コードを下にたらしさない!



ふれたり、引っかけたりすると、落ちてけがをすおそれがあります。

禁止

安全上のご注意

必ずお守りください。

注意

使用方法について

■本機の上に重い物を置かない！



禁止

バランスがくずれて、落下して、けがの原因になります。

■本機に乗らない！



禁止

倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。

■カセットテープ挿入口に手をはさまれないよう注意する！



指に注意

手をはさまれ、けがの原因となります。

■長期間使用しない時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く！



電源プラグを抜く

火災の原因となる場合があります。

■移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードをはずす！



電源プラグを抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。

•ビデオカセットは、取り出しておいてください。

お手入れについて

■お手入れの際は安全のため、スイッチを切り、電源プラグを抜く！



電源プラグを抜く

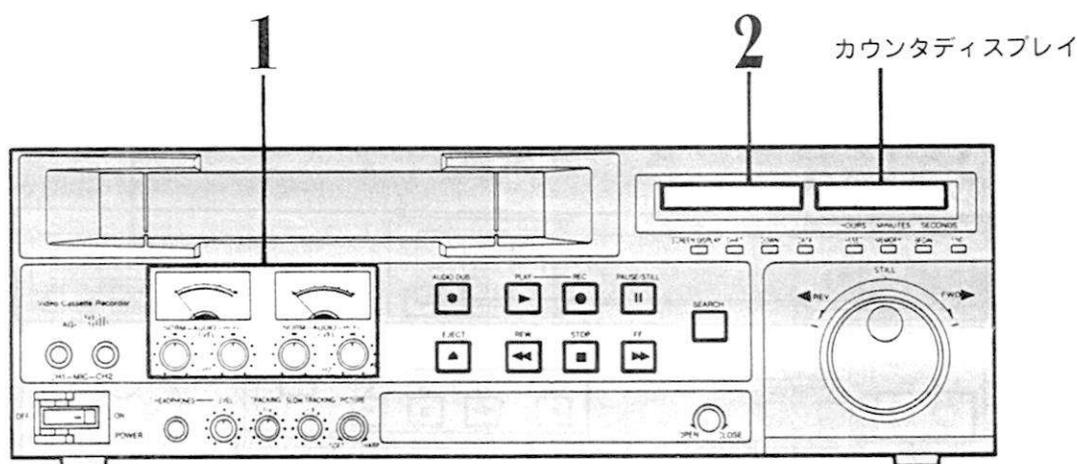
感電の原因となる場合があります。

■1年に1度くらいは、販売店に内部の掃除の相談を！



本機の内部にほこりがたまったまま、使用し続けると、火災・故障の原因となる場合があります。

前面パネル部



(上のイラストはAG-7350です。)

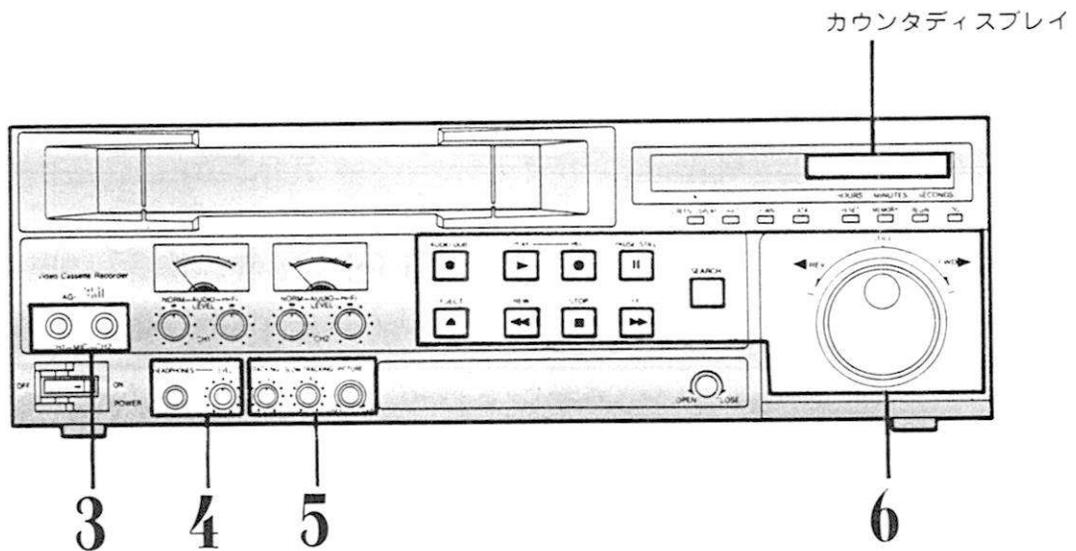
1 レベル調整部 (AG-7350のみ)

- Audio (CH1) レベルメータ ————— CH1音声レベルを表示
- Audio (CH2) レベルメータ ————— CH2音声レベルまたはトラッキングレベルを表示
- Audio (CH1) NORMAL LEVELつまみ ノーマル音声CH1の録音レベル調整
- Audio (CH1) Hi-Fi LEVELつまみ — Hi-Fi音声CH1の録音レベル調整
- Audio (CH2) NORMAL LEVELつまみ ノーマル音声CH2の録音レベル調整
- Audio (CH2) Hi-Fi LEVELつまみ — Hi-Fi音声CH2の録音レベル調整

2 機能表示ランプ部

- カセットインランプ[] ————— カセットを挿入すると点灯
- S-VHSランプ[] ————— S-VHSモード時に点灯
- Hi-Fiランプ ————— Hi-Fi音声記録・再生時に点灯
- DOLBY* NRランプ ————— ドルビーNRシステム使用時に点灯
- SENSORランプ (AG-7350のみ) ————— SENSOR RECスイッチが「ON」の時に点灯。また、スイッチが「ON」の時にカセットが挿入されていない場合と誤消去防止用つまみが折れている場合は点滅
- “6H” ランプ ————— 6Hモード(EP)で再生時に点灯
- ワンタイムリピートランプ[] ————— ワンタイムリピート再生モード時に点灯
- メモリストップランプ[] ————— カウンタ(0:00:00)停止モード時に点灯
- 連続リピート再生ランプ[] ————— 連続リピート再生モード時に点灯

前面パネル部 (つづき)



(上のイラストはAG-7350です。)

3 マイクロホン部 (AG-7350のみ)

MIC端子 (CH1/CH2) ————— M6外部マイク用接続端子

4 ヘッドホン部

HEADPHONES端子 ————— M6のステレオヘッドホン用接続端子

HEADPHONE LEVEL調整つまみ ——— ヘッドホンの音量調整

5 画質調整部

TRACKING調整つまみ ————— ノイズ位置を調整

SLOW TRACKING調整つまみ ——— スローモーション再生中のノイズ位置を調整

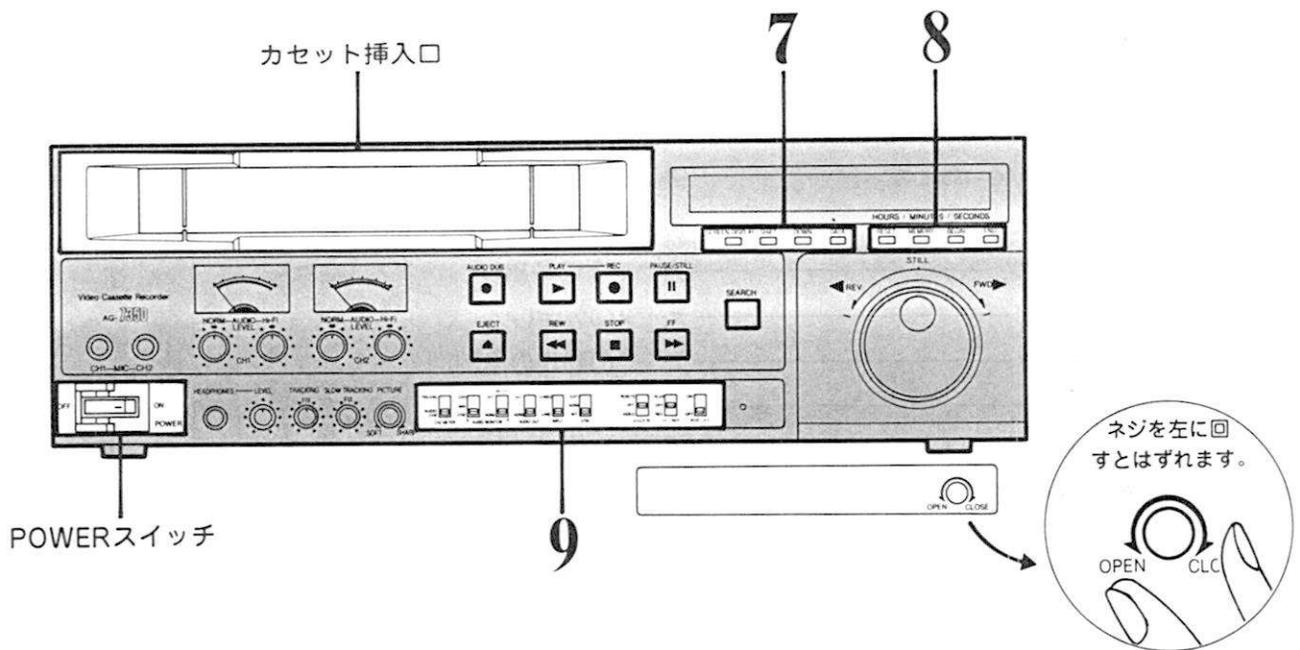
PICTURE調整つまみ ————— 再生画質のソフト/シャープを調整

6 基本操作部

AUDIO DUBボタン (AG-7350のみ)	再生中にPLAYボタンと同時使用で音声ダビング開始
PLAYボタン	再生開始
RECボタン (AG-7350のみ)	PLAYボタンと同時使用で録画開始
PAUSE/STILLボタン	再生時は静止画、録画時は一時停止
EJECTボタン	カセットの取出し
REWボタン	テープの巻戻し
STOPボタン	すべての動作の停止
FFボタン	テープの早送り
SEARCHボタン	サーチの実行・解除
SEARCH/JOGダイヤル	サーチ速度の調整

*ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
*ドルビー、DOLBY及びダブルD記号  はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの登録商標です。

前面パネル部(つづき)



7 メニュー設定部

- SCREEN DISPLAYボタン ———— メモリメニュー表示のON/OFF。DOWNボタンとの同時押しで初期設定メニューを表示
- SHIFTボタン ———— メニュー画面の切替え、数値入力時の桁移動
- DOWNボタン ———— 点滅行の移動
- DATAボタン ———— スイッチ項目の切替え、数値入力時の数値の増加

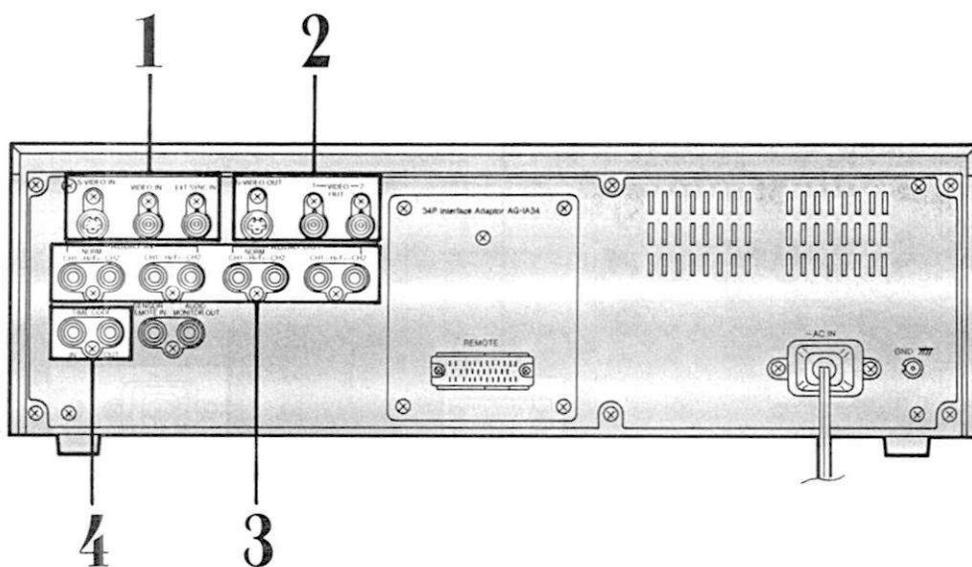
8 機能設定部

- RESETボタン ———— カウンタのリセット
- MEMORYボタン ———— メモリストップの設定、リピートモードの切替え
- BEGINボタン ———— リピート開始点の設定
- ENDボタン ———— リピート終了点の設定

9 機能設定部

- CH2 METERスイッチ ———— AUDIO CH2レベルメータとTRACKINGメータのメータ切替え
- AUDIO MONITORスイッチ ———— モニタ音声の種類、チャンネル選択
- AUDIO OUTスイッチ ———— 音声出力端子より出力する音声の切替え
- INPUTスイッチ (AG-7350のみ) ———— 映像入力信号の切替え
- SYNCスイッチ ———— 同期信号の切替え
- SENSOR RECスイッチ (AG-7350のみ) ———— 自動的に記録するモードの切替え
- EXT TIMERスイッチ ———— タイマーモードの切替え
- MODE LOCKスイッチ ———— 前面操作ボタンの禁止

後面パネル部



1 映像入力信号部

- S-VIDEO IN端子 (AG-7350のみ) ———— S-VIDEO信号の入力端子
- VIDEO IN端子 (AG-7350のみ) ———— 映像信号の入力端子
- EXT SYNC IN端子 ———— 外部の基準同期信号に同期させる場合、基準同期信号発生器の複合同期信号に接続

2 映像出力信号部

- S-VIDEO OUT端子 ———— S-VIDEO信号の出力端子
- VIDEO OUT (1,2) 端子 ———— 映像信号の出力端子

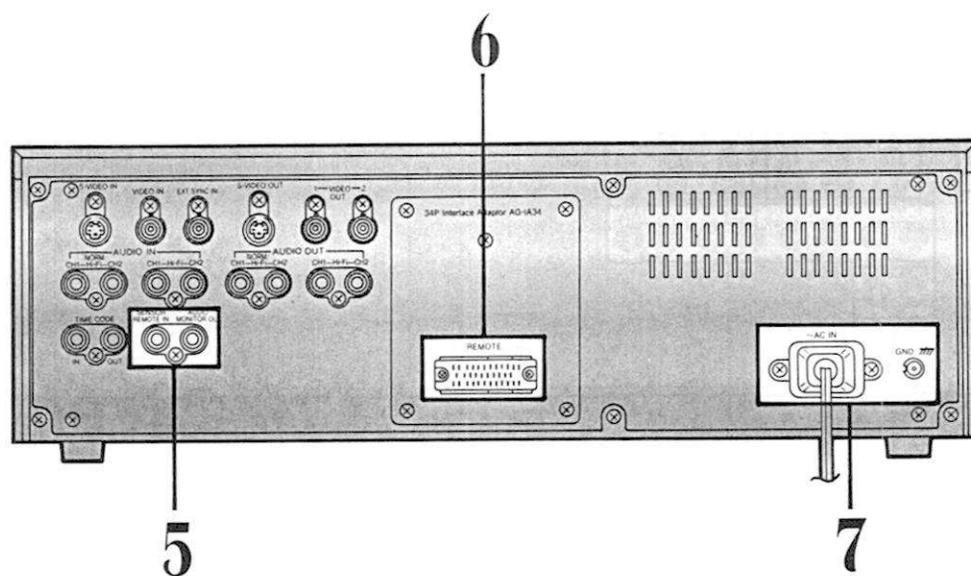
3 音声信号部

- NORM/Hi-Fi音声入力端子 (AG-7350のみ) ———— NORM/Hi-Fi音声(CH1/2)の入力端子
- Hi-Fi音声入力端子 (AG-7350のみ) ———— Hi-Fi音声専用入力端子
- NORM/Hi-Fi音声出力端子 ———— NORM/Hi-Fi音声(CH1/2)の出力端子
- Hi-Fi音声出力端子 ———— Hi-Fi音声専用出力端子

4 タイムコード信号部

- TIME CODE IN端子 (AG-7350のみ) ———— タイムコード信号の入力端子
- TIME CODE OUT端子 ———— タイムコード信号の出力端子

後面パネル部(つづき)



各部の名称

5 センサリモート録画/モニタ出力部

SENSOR REMOTE端子(AG-7350のみ)—— センサREC制御用端子
AUDIO MONITOR出力端子 —— 音声モニタ信号の出力端子

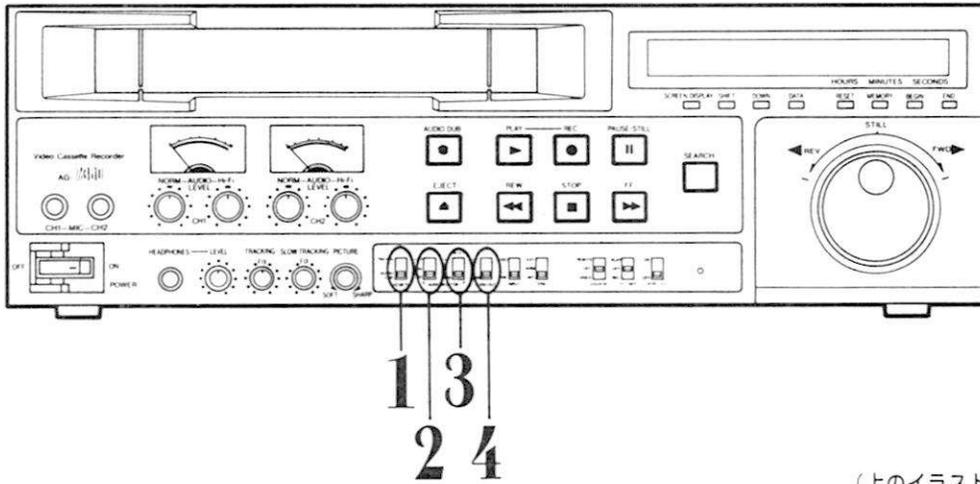
6 リモート信号部

REMOTE端子 —— リモートコントローラ(AG-A600)の接続端子

7 電源回路部

AC IN端子 —— AC 100Vの電源コンセントに接続
シグナルGND端子 —— ノイズ軽減のため接続機器の信号アース端子と接続
します。安全アースではありません。

スイッチ設定



(上のイラストはAG-7350です。)

1 CH2 METERスイッチの設定 (AG-7350のみ)

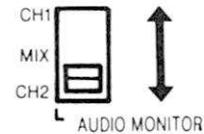
録画時、音声の入力レベルの調整をします。
チャンネル2を調整する時は、CH2 METERスイッチを「AUDIO CH2」側に切替えてからレベルを調整してください。



2 AUDIO MONITORスイッチの設定

前面のヘッドホン端子と後面のAUDIO MONITOR出力端子からモニタするチャンネルを選択します。

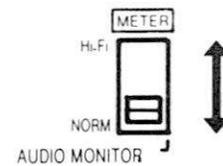
- CH1: CH1の音声が出力されます。
- MIX: AUDIO MONITOR出力端子からは、CH1とCH2の混合音声が出力され、ヘッドホン端子からは、左側はCH1、右側はCH2の音声が出力されます。
- CH2: CH2の音声が出力されます。



3 METERスイッチの設定 (AG-7150はメータ表示なし)

レベルメータに表示される音声と、前面のヘッドホン端子や後面のAUDIO MONITOR出力端子から出力される音声を選択します。

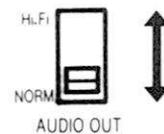
- Hi-Fi: Hi-Fi音声が選択されます。
- NORM: ノーマル音声が選択されます。



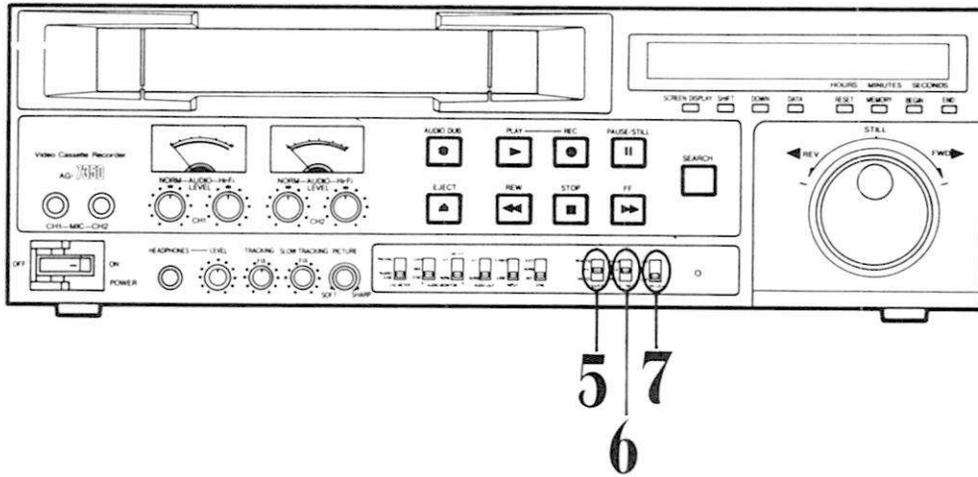
4 AUDIO OUTスイッチの設定

後面のNORM/Hi-Fi音声出力端子から出力される音声を選択します。

- Hi-Fi: Hi-Fi/ノーマル音声を自動判別します。
Hi-Fi音声がなければ、自動的にノーマル音声が選択されます。
- NORM: ノーマル音声が選択されます。



スイッチ設定(つづき)



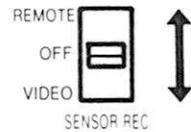
5 SENSOR RECスイッチ設定 (AG-7350のみ)

自動的に記録するモードを選択します。

REMOTE : 後面端子からの制御信号により自動的に記録する場合。

OFF : 通常使用時は、この位置にします。

VIDEO : VIDEO IN端子より映像信号を自動的に検出して記録する場合。



6 EXT TIMERスイッチの設定

タイマーモードを選択します。

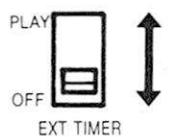
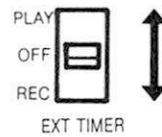
PLAY : 外部タイマーを使ってタイマー再生をする場合。

OFF : 通常使用時は、この位置にします。

REC : 外部タイマーを使ってタイマー録画をする場合。

AG-7350

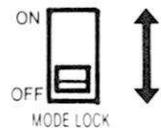
AG-7150

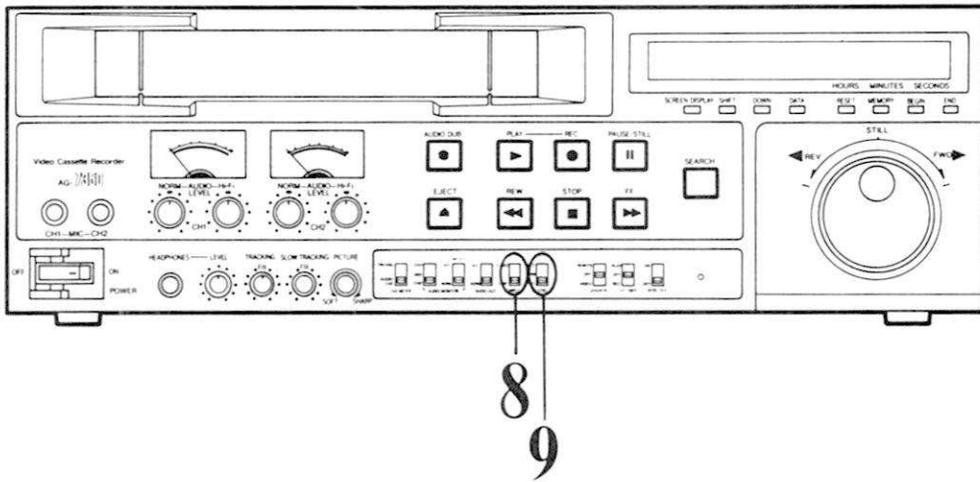


7 MODE LOCKスイッチの設定

ON : リモートコントロールによる操作のみを受付けます。
前面パネルの操作ボタンは受付ません。

OFF : 前面パネルの操作ボタンおよびリモートコントロールによる操作が可能です。



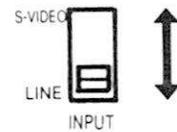


8 INPUTスイッチの設定 (AG-7350のみ)

録画時、入力信号によってスイッチを切換えます。

S-VIDEO : S-VIDEO IN端子に接続した機器の映像信号を記録する場合。

LINE : VIDEO IN端子に接続した機器の映像信号を記録する場合。



9 SYNCスイッチの設定

同期信号を選択します。

EXT : 録画、再生時にEXT SYNC IN端子に接続した外部同期に本機の同期を合わせる場合。

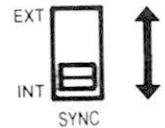
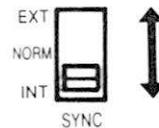
NORM : VIDEO IN端子に接続した映像入力信号に同期を合わせる場合。(映像入力信号がない時、「INT」と同じになります。)

INT : 本機の内部発振に同期を合わせる場合。(録画時には自動的に映像入力信号に同期を合わせます。)

■ 「EXT」に設定する時には、必ず外部同期信号を接続してください。

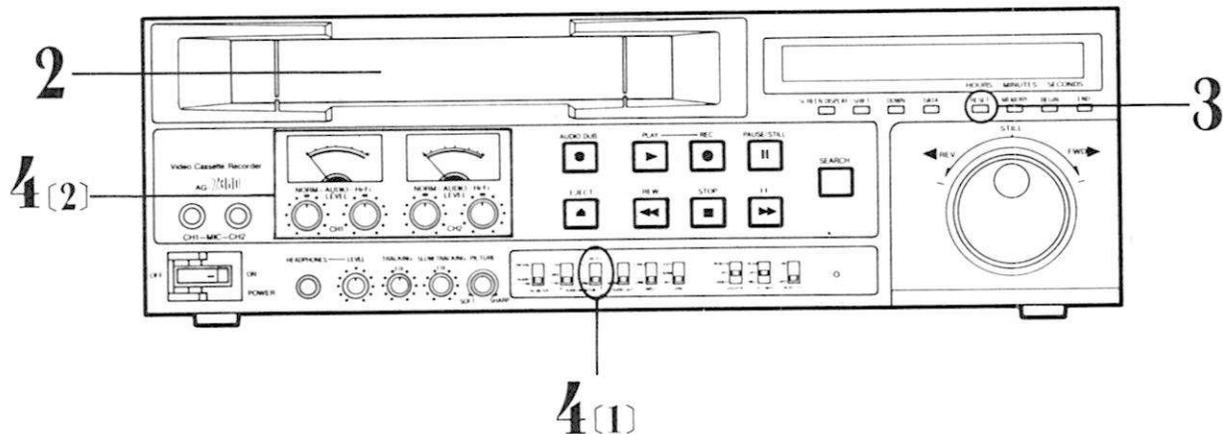
AG-7350

AG-7150



録画のしかた (AG-7350のみ)

AG-7150には録画機能がありません。

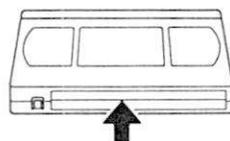


1 各スイッチ設定をします。

- INPUTスイッチ → 「LINE」または「S-VIDEO」(17ページ参照)
- SENSOR RECスイッチ → 「OFF」(16ページ参照)
- EXT TIMERスイッチ → 「OFF」(16ページ参照)
- S-VHS(オンスクリーン) → 「ON」(42~44ページ参照)

2 カセットを挿入します。

- 録画用カセットは、誤消去防止用つめが折れていないことを確認してください。



3 RESETボタンを押します。

- テープカウンタをクリアします。



4 音声記録レベルを調整します。

(1) 調整する音声の選択

METERスイッチを切り替えます。

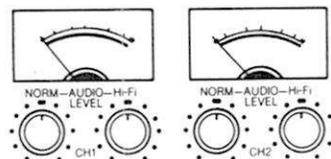
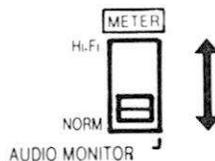
Hi-Fi : Hi-Fi音声レベルがメータに表示されます。

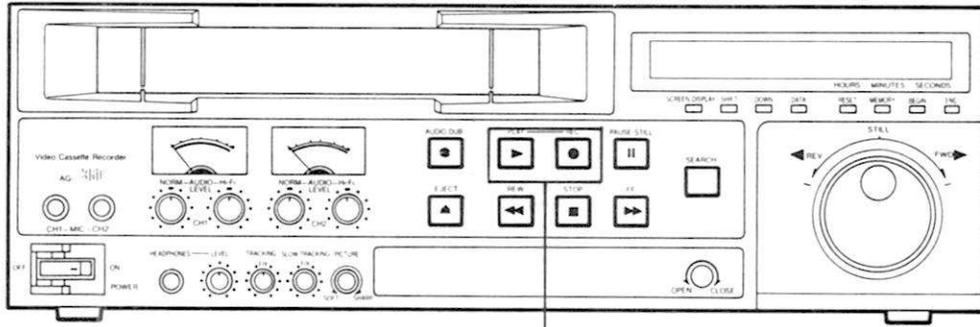
NORM : ノーマル音声レベルがメータに表示されます。

(2) レベルの調整

各レベル調整つまみを回して、レベルメータの「0」の位置を越えない範囲で、最も大きい値に調整します。

- ノーマル音声レベル調整は、オンスクリーン(初期設定)画面の「AUDIO LIMITER」を「OFF」にしてから行ってください。

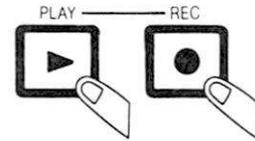




5

5 RECボタンとPLAYボタンを同時に押します。

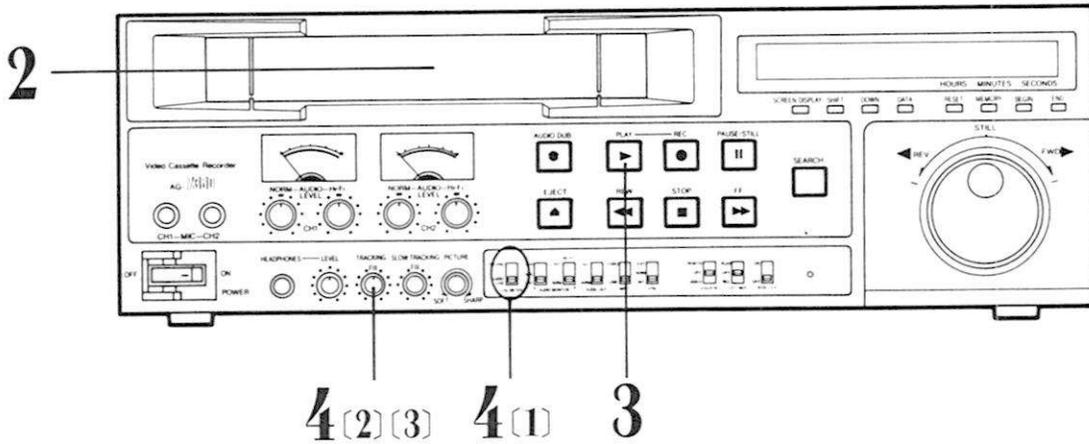
■録画が開始します。



ノート

- AUDIO LIMITER機能、ドルビーNRシステムを動作させる場合、オンスクリーン(初期設定)画面で設定します。(42~45ページ参照)
 - AUDIO LIMITER機能を動作させると、記録時に過大入力があっても、自動音量制限回路が働いて歪みのない音声を記録できます。
 - ドルビーNRシステムを動作させると、雑音の少ない録音再生ができます。
- Hi-Fi音声を記録する場合は、オンスクリーン(初期設定)画面の「Hi-Fi REC」を「ON」にします。
- Hi-Fi音声を記録しない場合は、レベル調整を「0」にするだけでは不十分ですので、必ず「Hi-Fi REC」を「OFF」にしてください。

再生のしかた

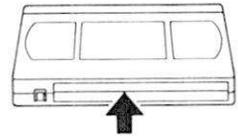


1 各スイッチ設定をします。

- SENSOR RECスイッチ → 「OFF」(AG-7350のみ)(16ページ参照)
- EXT TIMERスイッチ → 「OFF」(16ページ参照)

2 カセットを挿入します。

- 既に、映像・音声が記録されているテープを挿入します。



3 PLAYボタンを押します。

- 再生が開始されます。



4 トラッキングを調整します。

- (1) CH2 METERスイッチを「TRACKING」にします。
(AG-7350のみ)



- (2) AG-7350の場合
TRACKING調整つまみをゆっくり左右に回し、メータの針が最大になるように調整します。

AG-7150の場合
TRACKING調整つまみをゆっくり左右に回し、画質が最良になるように調整します。

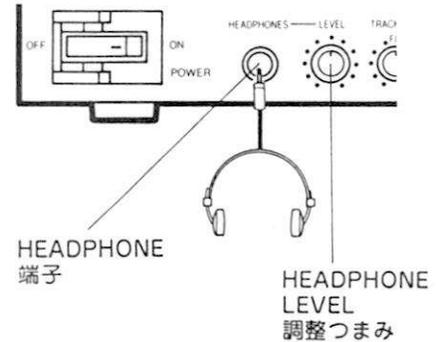


- (3) 再生が終わるとTRACKING調整つまみを中央のFIX点に戻してください。

■本機以外のVTRで記録されたテープを再生する場合は、必ずトラッキングを調整してください。

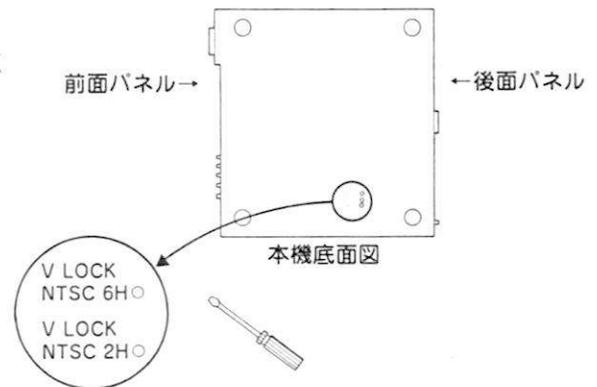
ヘッドホンを使用する場合

ハイインピーダンスのヘッドホンを接続すると、音量レベルが変わる場合があります。



V-LOCK調整

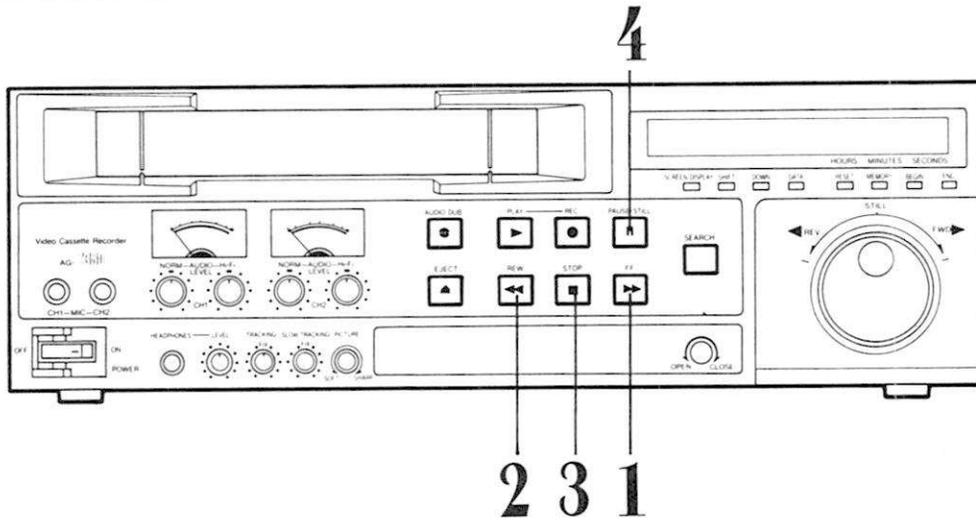
静止画再生中に画像が上下に小さく揺れる場合は、底面のV-LOCKをドライバー等で調整してください。通常は、さわらないでください。



ノート

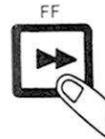
- ドルビーNRシステムで記録されたテープを再生する場合は、オンスクリーン(初期設定)画面で「DOLBY NR」を「ON」に設定してください。(38～41ページ参照)
- 再生時にトラッキングがずれると、Hi-Fi音声記録されていてもHi-Fiランプは消灯しHi-Fi音声は出力されません。
- 6H (EP) モード再生について
6Hモードは再生のみ可能です。(記録はできません)
 - 6Hモード再生はPLAYモード(×1倍速)のみ、正しい映像が得られます。他のPLAYモード(±1/25～11倍速)ではノイズの多い映像となります。
 - 6Hモード再生ではHi-Fi音声は出力されません。ノーマル音声のみ出力されます。

早送り・巻戻し・停止・一時停止のしかた



1 早送りのしかた

FFボタンを押します。



2 巻戻しのしかた

REWボタンを押します。



3 停止のしかた

STOPボタンを押します。
■すべてに動作が停止します。



4 一時停止のしかた

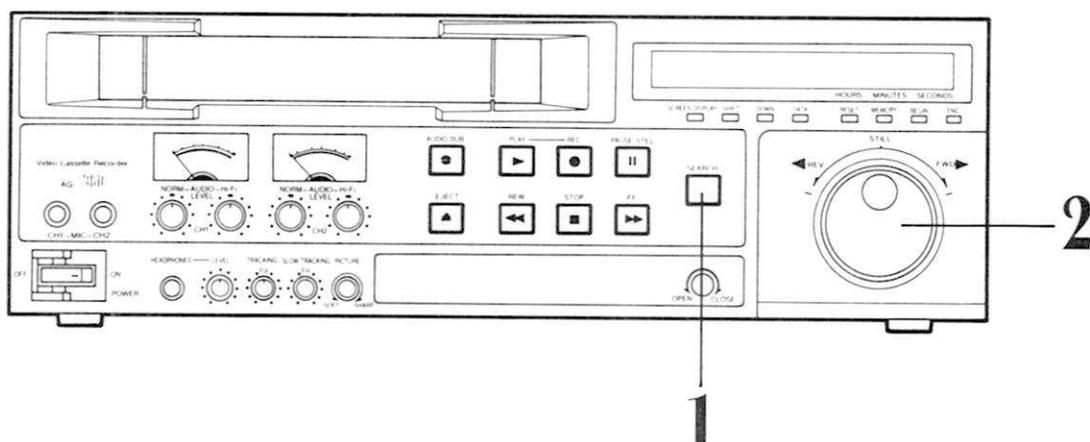
録画・再生中にPAUSE/STILLボタンを押します。
■再生時は、PLAY/STILL状態になり静止画像が再生されます。
■録画時は、REC/PAUSE状態になり記録が一時停止します。



ノート

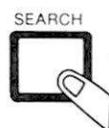
- 一時停止を約5分以上続けるとテープ保護のため、自動的に本機はSTOP状態になります。
- 停止状態を約5分以上続けるとテープ保護のため、自動的にシリンダが止まります。

サーチ操作のしかた



1 SEARCHボタンを押します。

SEARCHボタン、PLAYボタン、PAUSE/STILLボタンが点灯し、サーチ可能状態になります。



2 サーチダイヤルを操作します。

内側ダイヤルのJOGモードと外側ダイヤルのSHUTTLEモードがあります。

■右に回すと正方向再生(FWDランプ点灯)、左に回すと逆方向再生(REVランプ点灯)になります。

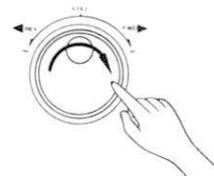
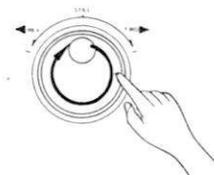
[1] JOGモードの場合

内側ダイヤルを回す速度に応じて、静止画～±1倍速再生まで操作できます。回転を止めると、常に静止画像になります。

[2] SHUTTLEモードの場合

外側ダイヤルを回す角度に応じて、0～±11倍速まで再生速度を操作できます。

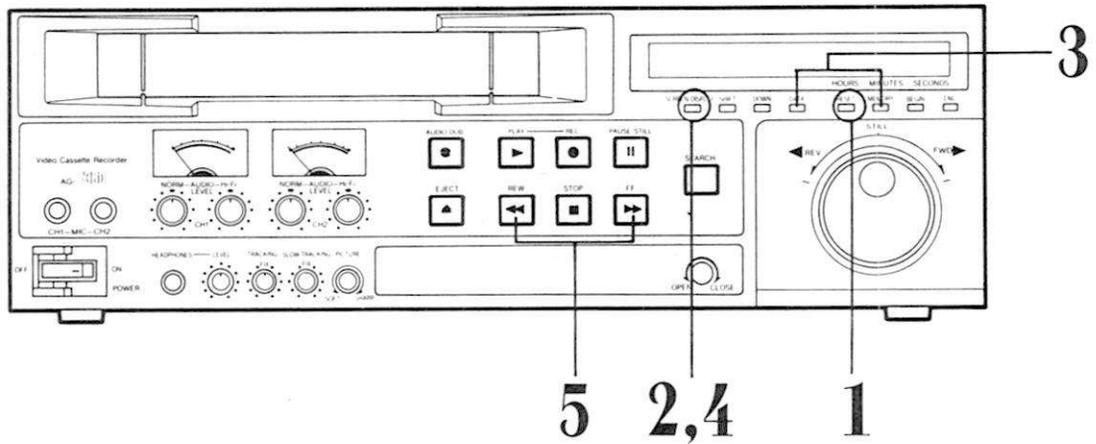
中央位置(クリック点)では静止画像になります。



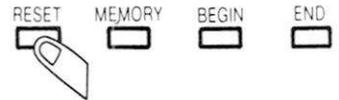
ノート

■ダイレクトサーチモードを設定する場合は、オンスクリーン(初期設定)画面の「DIRECT SEARCH」を「ON」にします。(42～45ページ参照)

MEMORY STOP機能について



1 自動停止させたい位置でRESETボタンを押します。
 ■テープカウンタが「0:00:00」になります。

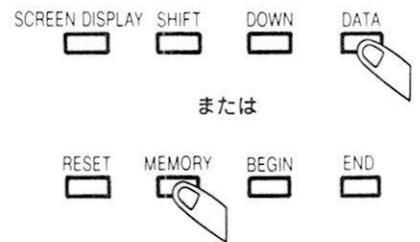


2 SCREEN DISPLAYボタンを押します。
 ■オンスクリーンメモリ画面が表示されます。

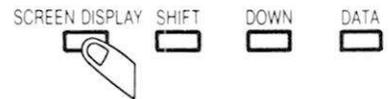


3 DATAボタンまたはMEMORYボタンを押します。
 ■「MEMORY STOP」を選択します。(カウンタに「→000」点灯)

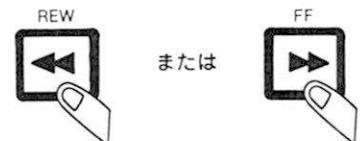
MEMORY STOP
 BGN+0:00:00
 END+0:00:00



4 SCREEN DISPLAYボタンを押します。
 ■通常画面に戻ります。



5 FFボタンまたはREWボタンを押します。
 ■テープカウンタの「0:00:00」付近で、自動停止します。



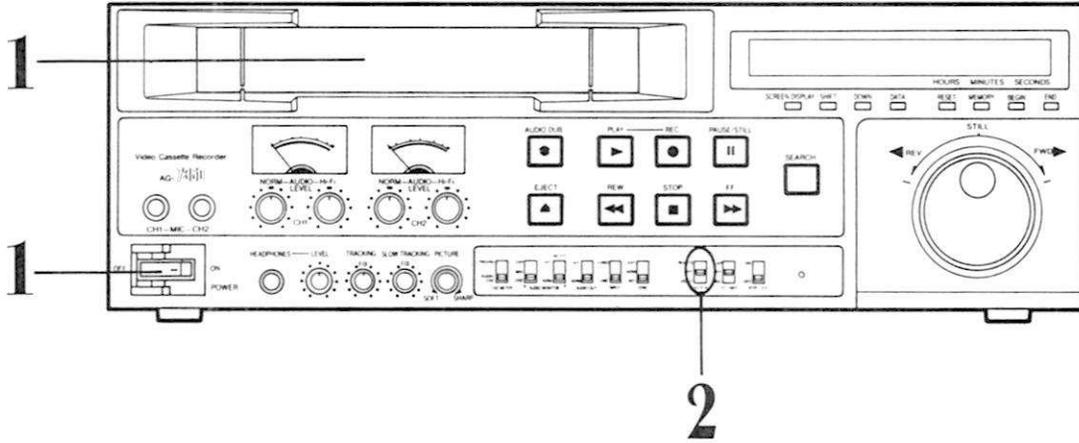
ノート

- 項目1の後、「0:00:00」付近以外の範囲でMEMORYボタンのみを押すだけでも、MEMORY STOP機能は得られます。
- 本機能使用後は必ず項目3にて「MEMORY OFF」を選択してください。(カウンタの「→000」消灯)

センサー録画のしかた (AG-7350のみ)

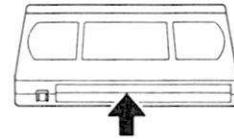
AG-7150には録画機能がありません。

衛星等の映像信号の入力で録画を自動的にこなう場合



1 電源を入れ、カセットを挿入します。

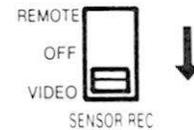
■誤消去防止用つめが折れていないことを確認してください。



2 SENSOR RECスイッチを「VIDEO」にした場合

■カウンタ内のSENSORランプが点灯し、本機はスタンバイモードとなります。

VIDEO IN端子に映像信号が入力されると本機は自動的に電源が入り、録画状態となります。映像信号がなくなると停止状態となり、スタンバイモードとなります。

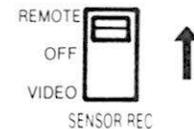


SENSOR RECスイッチを「REMOTE」にした場合

■カウンタ内のSENSORランプが点灯し、本機はスタンバイモードとなります。

後面のSENSOR REMOTE端子に録画開始信号が入力されると本機は自動的に電源が入り、録画状態となります。録画終了の信号がくると停止状態となり、スタンバイモードとなります。

■録画を開始すると、その開始点を自動的にリピートの開始点とします。同様に、終了すると、その終了点を自動的にリピートの終了点とし、リピートモードが自動的に「REPEAT CONTINUE」になります。



ノート

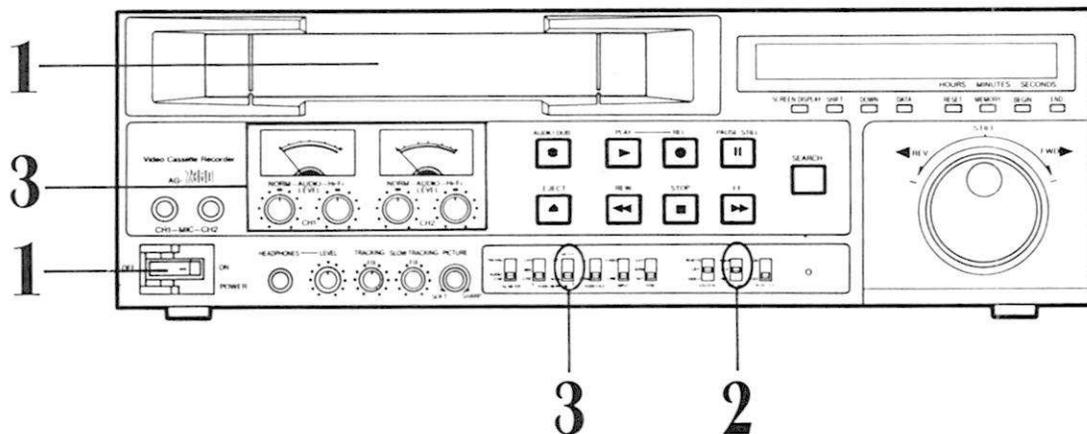
■カセットが挿入されていない場合と誤消去防止用つめが折れている場合にSENSOR RECスイッチを「VIDEO」または「REMOTE」に設定すると、SENSORランプが点滅します。

■センサー録画中にテープ終端になると本機は停止状態となり、電源が切れます。

■SENSOR RECスイッチを設定した場合、前面の操作ボタンは全て受けません。

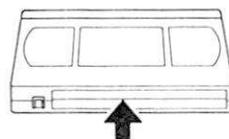
タイマー録画のしかた (AG-7350のみ)

AG-7150には録画機能がありません。

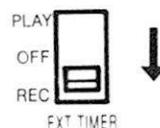


1 電源を入れ、カセットを挿入します。

■誤消去防止用つめが折れていないことを確認してください。



2 EXT TIMERスイッチを「REC」に設定します。



3 音声レベルを調整します。(14ページ参照)

4 タイマーの設定を行ないます。

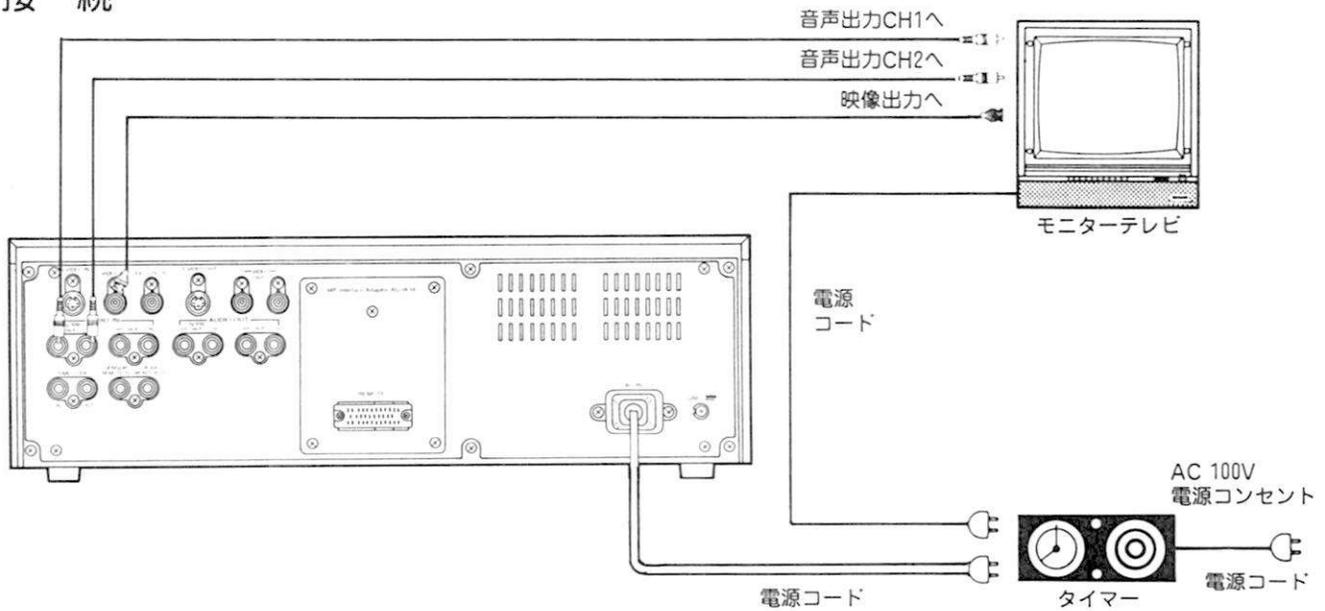
(1) タイマーの電源を入れます。

(2) タイマーを希望の時刻に設定します。

- テープがシリンダ部に装着される時間を考慮して、タイマーの開始時刻を録画が始まる時刻より1分程早めにしてください。
- テープ保護のため、必ず使用テープ時間よりも10分程度プラスした時間でタイマーOFF設定を行なってください。
(例えば、NV-T120のときは約130分です。)

■詳しくは、タイマーの取扱説明書をご覧ください。

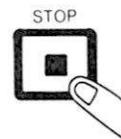
接続



5 タイマー開始時刻が来ると…

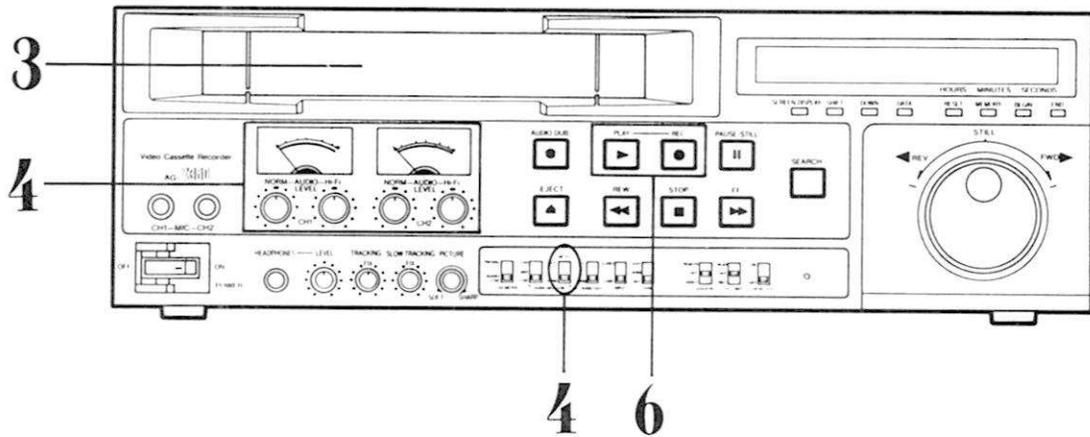
タイマー開始時刻になると本機に電源が入り、自動的に録画を始めます。
終了時刻になると電源が切れ、テープはシリンダに装着したまま停止します。
再び電源が入った場合、本機は一旦停止モードになりますが、再びタイマー録画モードになります。

6 タイマー録画を途中でやめる場合は、STOPボタンを押します。



ノート

- テープが終端になると本機はオンスクリーン機能で設定したモードに従います。
- タイマー録画中に電源が切れた場合、テープはシリンダ部に巻かれたままになっています。再び電源が入るとテープはシリンダ部から解かれ、一旦停止モードになった後、再び、タイマー録画に戻ります。



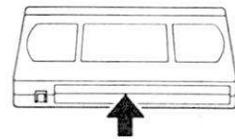
1 各スイッチの設定をします。

- INPUTスイッチ → 「LINE」(17ページ参照)
- EXT TIMERスイッチ → 「OFF」(16ページ参照)
- オンスクリーンメモリ機能 → 「MEMORY OFF」(40~41ページ参照)

2 モニターテレビまたは一般テレビの電源を入れます。

3 カセットを挿入します。

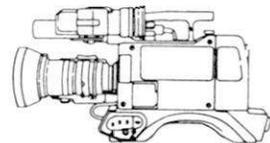
- 誤消去防止用つめが折れていないことを確認してください。



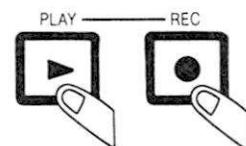
4 音声レベルを調整します。(18ページ参照)

5 ビデオカメラで必要な準備を行ないます。

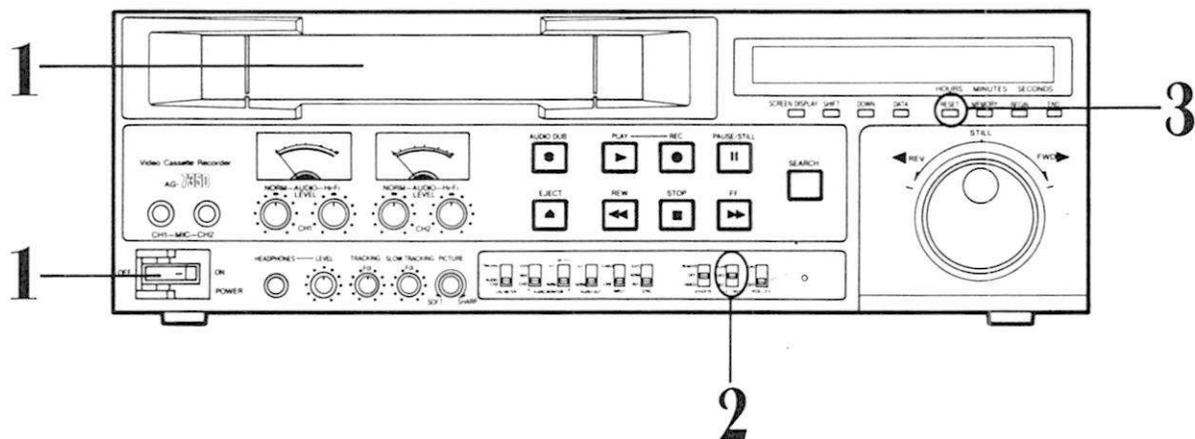
- ビデオカメラの取扱説明書を参照し、カメラの取扱い方法、録画の方法を確認します。



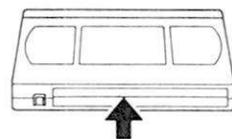
6 RECボタンとPLAYボタンを同時に押します。



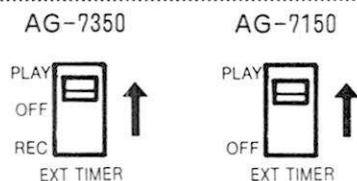
タイマー再生のしかた



1 電源を入れ、カセットを挿入します。



2 EXT TIMERスイッチを「PLAY」に設定します。



3 RESETボタンを押し、カウンタを「0:00:00」にします。



4 タイマーの設定を行ないます。

- (1) タイマーの電源を入れます。
- (2) タイマーを希望の時刻に設定します。
 - テープ保護のため、必ず使用テープ時間よりも10分程度プラスした時間でタイマーOFF設定を行なってください。(例えば、NV-T120のときは約130分です。)

■ 詳しくは、タイマーの取扱説明書をご覧ください。

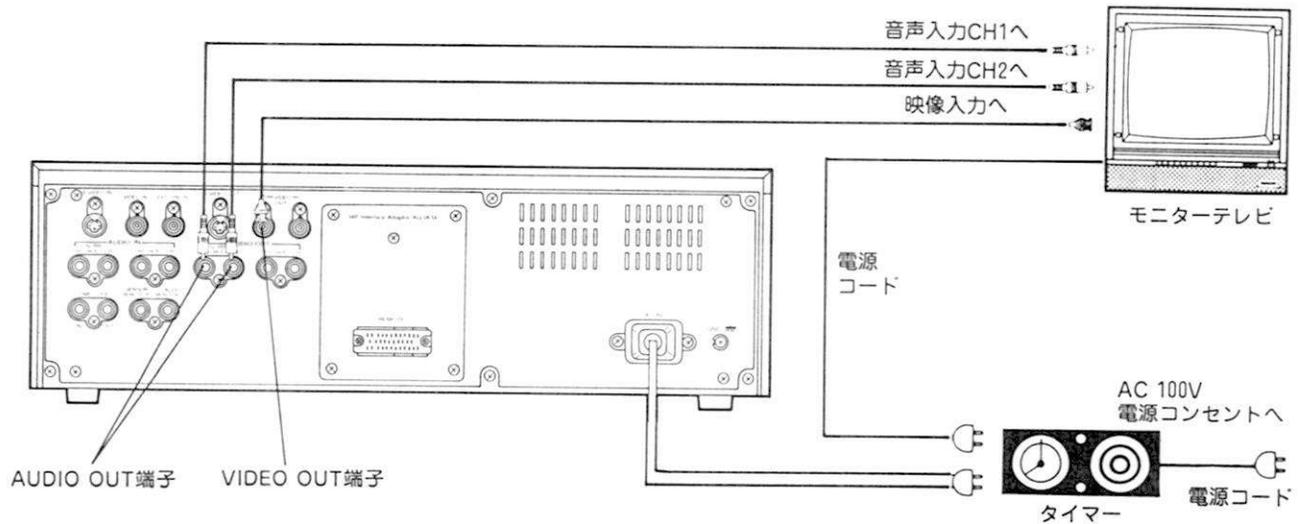
5 タイマー開始時刻が来ると…

タイマー開始時刻になると本機に電源が入り、自動的に再生を始めます。終了時刻になると電源が切れ、テープはシリンダに装着したまま停止します。再び電源が入った場合、本機は一旦停止モードになりますが、再びタイマー再生モードになります。

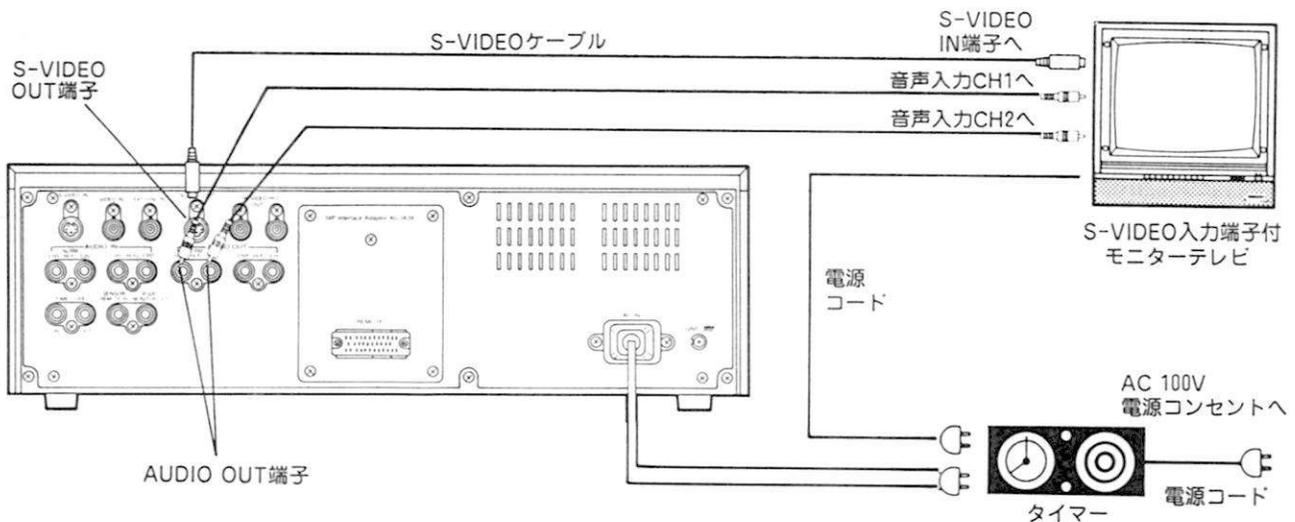
■ リpeat機能が設定されている場合は巻戻され、リpeat再生を開始します。

接続

●映像/音声ケーブル使用時

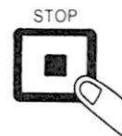


●S-VIDEO/音声ケーブル使用時



再生操作

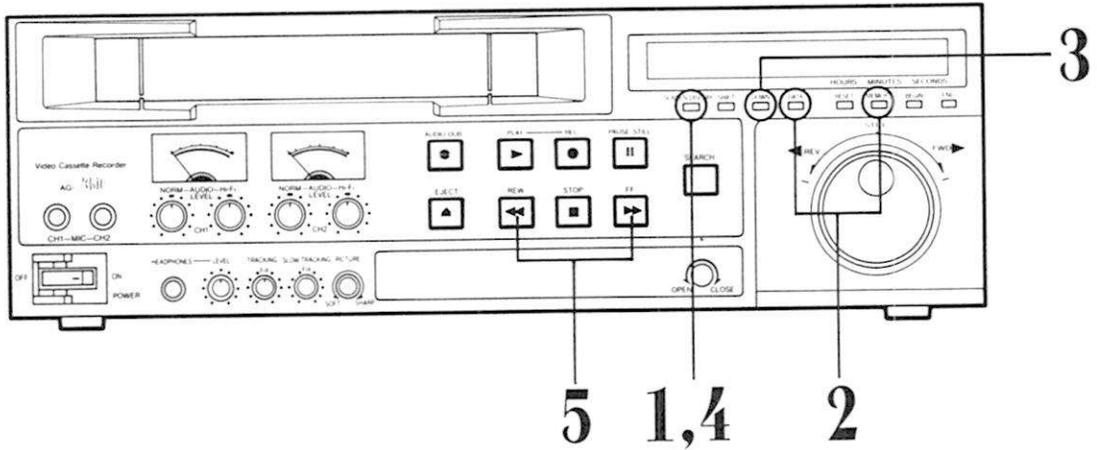
6 タイマー再生を途中でやめる場合は、STOPボタンを押します。



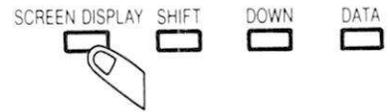
ノート

- テープが終端になると本機はオンスクリーン(初期設定)機能で設定したモードに従います。ただし、リピート中はテープ終端で自動的に巻戻します。
- タイマー再生中に電源が切れた場合、テープはシリンダ部に巻かれたままになっています。再び電源が入るとテープはシリンダ部から解かれ、一旦停止モードになった後、再び、タイマー再生に戻ります。

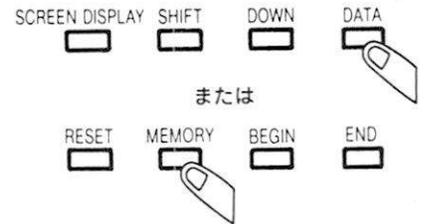
リピート再生のしかた



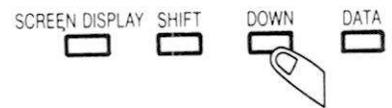
1 SCREEN DISPLAYボタンを押します。
 ■オンスクリーンメモリ画面が表示されます。



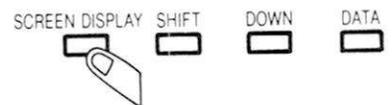
2 DATAボタンまたはMEMORYボタンを押します。
 ■一回のみのリピート再生(REPEAT 1 TIME)または連続リピート再生(REPEAT CONTINUE)のどちらかを選択します。カウンタにいずれかのリピートランプが点灯します。



3 DOWNボタンを押します。
 ■SHIFTボタンおよびDATAボタンを使ってリピート開始点(BEG)とリピート終了点(END)を設定します。



4 SCREEN DISPLAYボタンを押します。
 ■通常画面に戻ります。



5 FFボタンまたはREWボタンを押します。
 本機は自動的に開始点を探し、その開始点と終了点の間を繰り返して再生します。



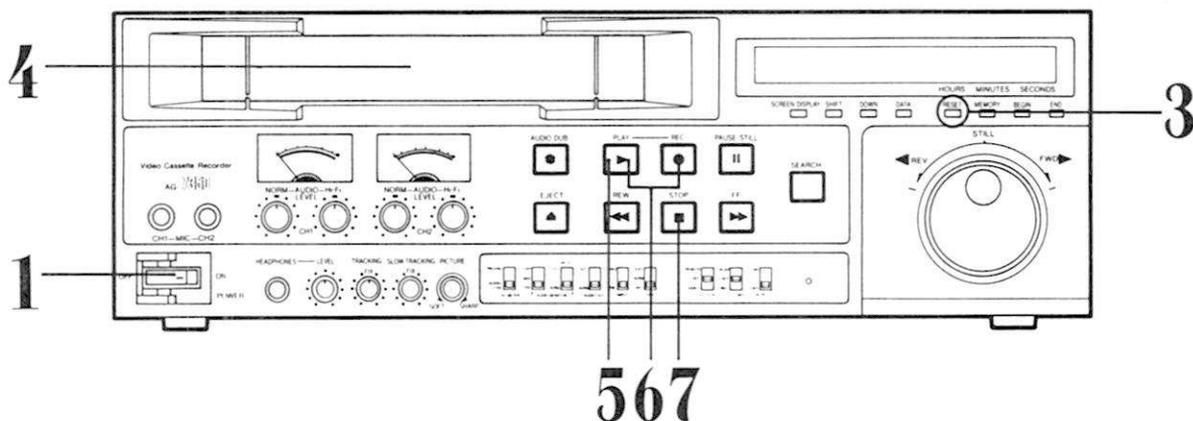
ノート

- 開始点と終了点の設定が同じ値の場合は、テープ始端とテープ終端との間でリピート再生を行いません。
- 終了点の設定値がテープ終端より大きい場合は、開始点とテープ終端との間でリピート再生を行いません。
- 開始点の設定値がテープ始端よりも小さい場合は、テープ始端と終了点との間でリピート再生を行いません。

ダビングのしかた

AG-7150は再生機ですので、再生側の説明をお読みください。

S-VIDEO端子によるダビング



1 再生側と録画側の各VTRの電源を入れます。

2 各スイッチ設定をします。

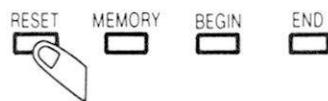
録画側

- INPUTスイッチ → 「S-VIDEO」(17ページ参照)
- SYNCスイッチ → 「NORM」(17ページ参照)
- EXT TIMERスイッチ → 「OFF」(16ページ参照)
- オンスクリーンメモリ機能 → 「MEMORY OFF」(40～41ページ参照)

再生側

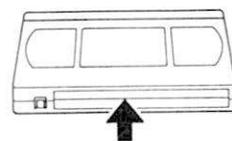
- SYNCスイッチ → 「INT」(17ページ参照)
- EXT TIMERスイッチ → 「OFF」(16ページ参照)
- オンスクリーンメモリ機能 → 「MEMORY OFF」(40～41ページ参照)
- EDIT(オンスクリーン) → 「ON」(42～44ページ参照)

3 RESETボタンを押し、カウンタを「0:00:00」にします。



4 再生側に録画済テープ、録画側に未記録テープを入れます。

■録画側カセットの誤消去防止用つめが折れていないことを確認してください。

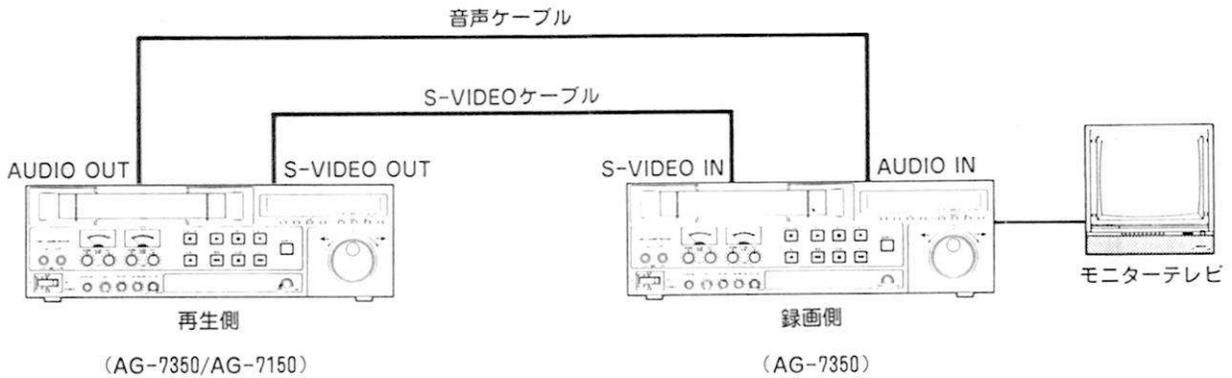


5 再生側VTRのPLAYボタンを押します。

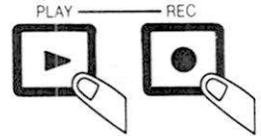


ダビングのしかた(つづき)

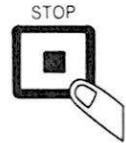
接 続



6 ダビングしたい箇所では録画側VTRのPLAYボタンとRECボタンを同時に押します。



7 ダビングを止めるときは、STOPボタンを押します。



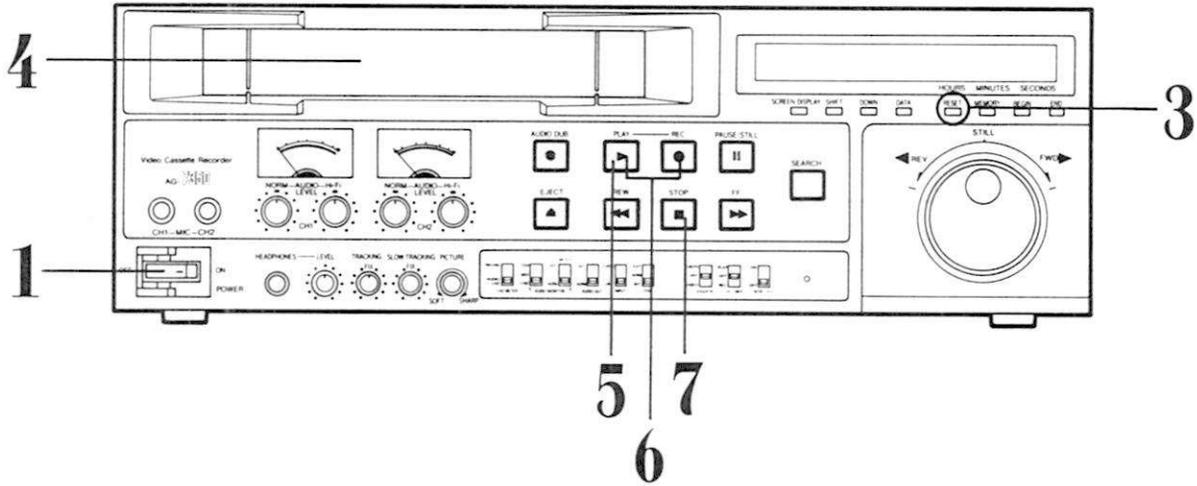
メモ

- 録画する箇所を見つけるときは、SEARCHダイヤルを使用すると便利です。
 - 1) SEARCHボタンを押します。
 - 2) SEARCHダイヤルを使ってテープのスピードを一定の速さにします。
 - 3) PAUSE/STILLボタンを押して、テープを静止モードにします。
 - 4) 位置が違う場合は、PAUSE/STILLボタンを再び押して静止モードを解除します。
 - 5) 上記2)~4)の操作を希望する箇所になるまで繰り返して行ないます。

ノート

- ダビングが終了しましたら、必ず再生側のオンスクリーン(初期設定)機能の「EDIT」を「OFF」にしてください。(42~44ページ参照)

コンポジット端子によるダビング



1 再生側と録画側の各VTRの電源を入れます。

2 各スイッチ設定をします。

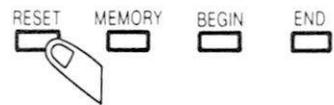
録画側

- INPUTスイッチ → 「LINE」(17ページ参照)
- SYNCスイッチ → 「NORM」(17ページ参照)
- EXT TIMERスイッチ → 「OFF」(16ページ参照)
- オンスクリーンメモリ機能 → 「MEMORY OFF」(40～41ページ参照)

再生側

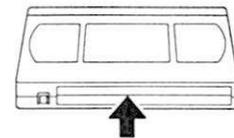
- SYNCスイッチ → 「INT」(17ページ参照)
- EXT TIMERスイッチ → 「OFF」(16ページ参照)
- オンスクリーンメモリ機能 → 「MEMORY OFF」(40～41ページ参照)
- EDIT(オンスクリーン) → 「ON」(42～44ページ参照)

3 RESETボタンを押し、カウンタを「0:00:00」にします。



4 再生側に録画済テープ、録画側に未記録テープを入れます。

録画側カセットの誤消去防止用つめが折れていないことを確認してください。

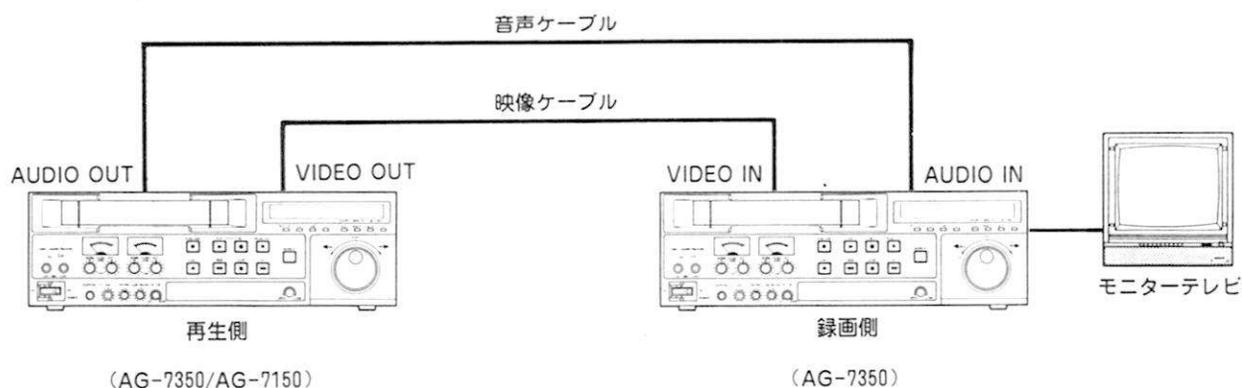


5 再生側VTRのPLAYボタンを押します。

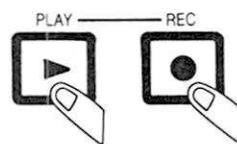


ダビングのしかた(つづき)

接 続



- 6** ダビングしたい箇所では録画側VTRのPLAYボタンとRECボタンを同時に押します。



- 7** ダビングを止めるときは、STOPボタンを押します。



メモ

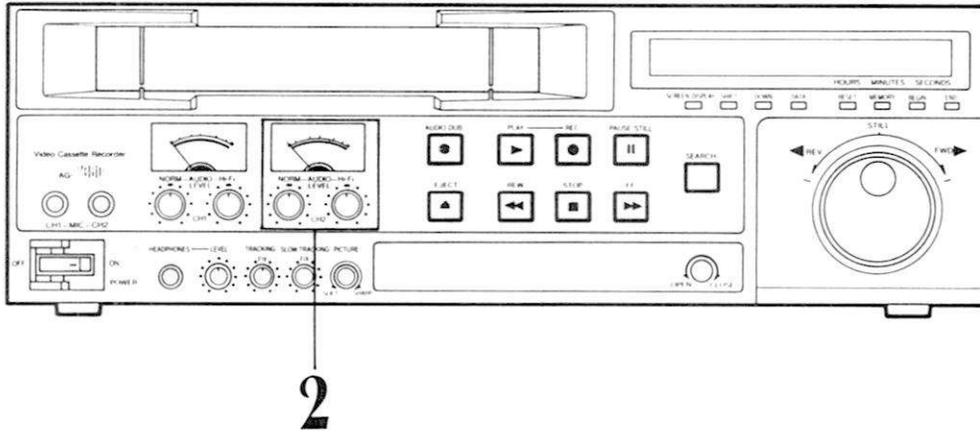
- 録画する箇所を見つけるときは、SEARCHダイヤルを使用すると便利です。
- 1) SEARCHボタンを押します。
 - 2) SEARCHダイヤルを使ってテープのスピードを一定の速さにします。
 - 3) PAUSE/STILLボタンを押して、テープを静止モードにします。
 - 4) 位置が違う場合は、PAUSE/STILLボタンを再び押して静止モードを解除します。
 - 5) 上記2)~4)の操作を希望する箇所になるまで繰り返して行ないます。

ノート

- ダビングが終了しましたら、必ず再生側のオンスクリーン(初期設定)機能の「EDIT」を「OFF」にしてください。

タイムコード信号について

SMPTEタイムコード信号をテープに記録すると、テープの絶対番地が分かります。
(ただし、タイムコード信号はテープトラックの音声CH2に記録されます。)



1 各スイッチの設定をします。

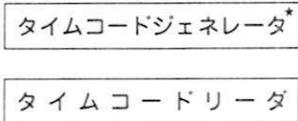
- CH2 METERスイッチ → 「CH2」(AG-7350のみ)(15ページ参照)
- AUDIO CH2(オンスクリーン) → 「TIME CODE」(42~44ページ参照)

2 タイムコード信号が入力している場合(AG-7350のみ)

- 音声CH2レベルメータの針が0付近を示しています。
- タイムコード信号は録画中、ダビング中(音声CH2のアフレコモードも含まれます)で記録されます。
詳しくは、SMPTEタイムコードジェネレータ(リーダ)の取扱説明書をご参照ください。

接続

★AG-7150にはタイムコードジェネレータは接続できません。(リーダのみ)

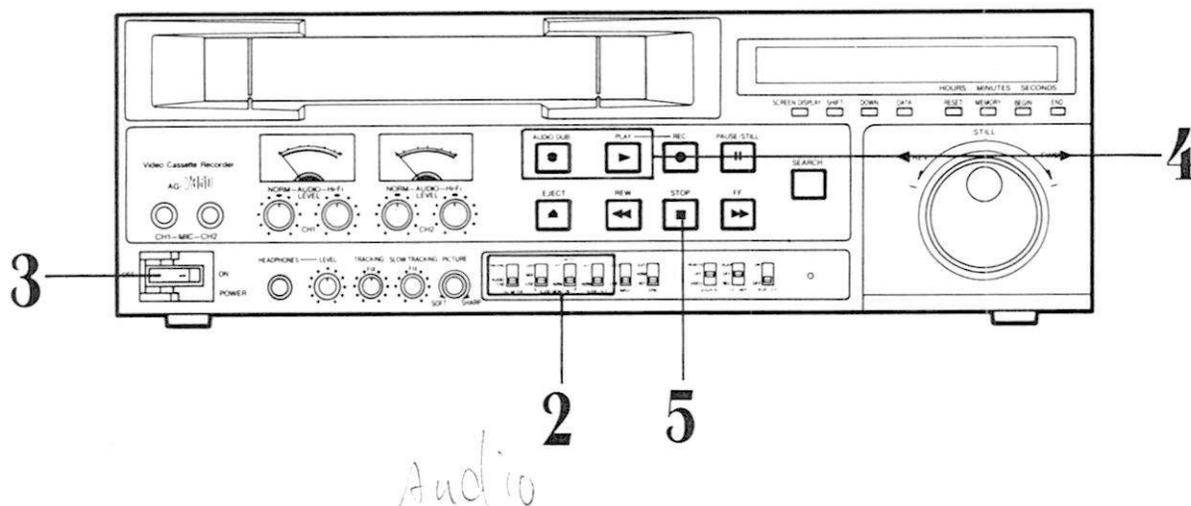


ノート

- 本機側のテープカウンタはタイムコード信号をカウントせず、テープに記録されたコントロール(CTL)信号をカウントします。
タイムコード信号の番地を読取る場合には、タイムコードリーダを接続してください。

音声のアフレコのしかた (AG-7350のみ)

AG-7150にはアフレコ機能がありません。



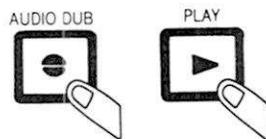
1 各スイッチ設定をします。

- INPUTスイッチ → 「LINE」(17ページ参照)
- EXT TIMERスイッチ → 「OFF」(16ページ参照)
- AUDIO DUB (オンスクリーン) → アフレコをするチャンネル (42~44ページ参照)
- オンスクリーンメモリ機能 → 「MEMORY OFF」(40~41ページ参照)

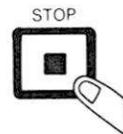
2 音声系のスイッチ設定を行います。 (11ページ参照)

3 AUDIO DUBボタンとPLAYボタンを同時に押します。

■アフレコが始まります。



4 アフレコを止めるときは、STOPボタンを押します。

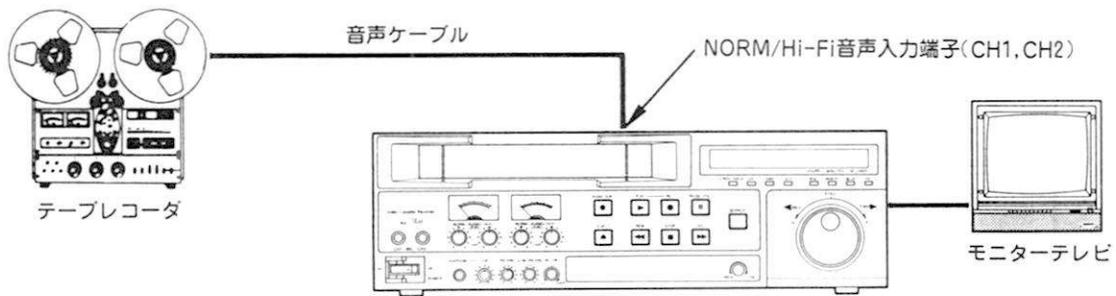


メモ

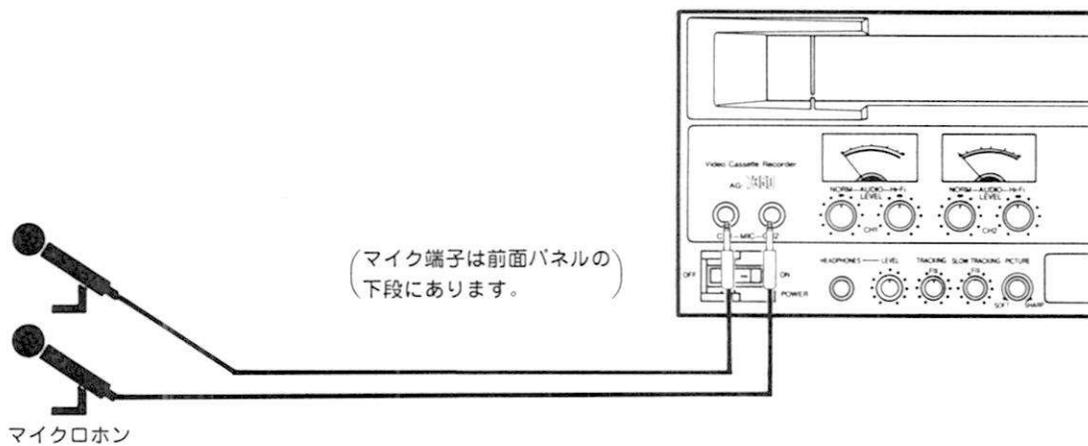
■録音する箇所を見つけるときは、SEARCHダイヤルを使用すると便利です。

- 1) SEARCHボタンを押します。
- 2) SEARCHダイヤルを使ってテープのスピードを一定の速さにします。
- 3) PAUSE/STILLボタンを押して、テープを静止モードにします。
- 4) 位置が違う場合は、PAUSE/STILLボタンを再び押して静止モードを解除します。
- 5) 上記2)~4)の操作を希望する箇所になるまで繰り返し行ないます。

接 続



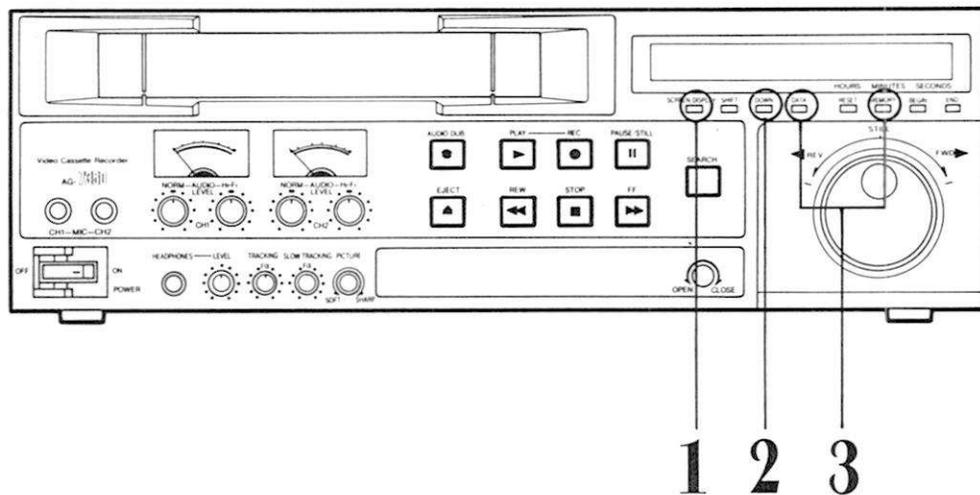
マイクロホンを接続する場合



ノート

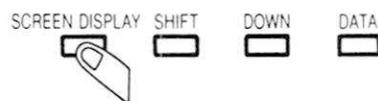
- マイク入力と音声入力は同時には録音できません。
同時に接続するとマイク優先になります。
- 6Hモードで記録したテープへのアフレコはできません。
- Hi-Fi音声へのアフレコはできません。

オンスクリーン(メモリ)機能について



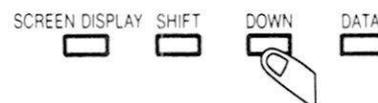
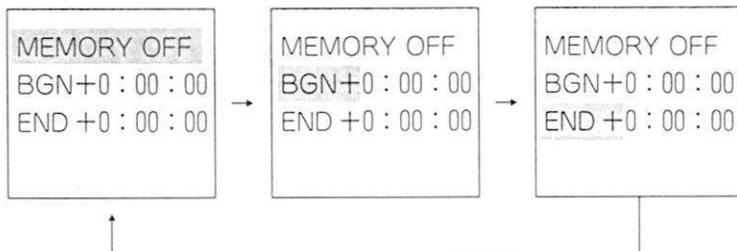
1 SCREEN DISPLAYボタンを押します。

■オンスクリーンモード「ON」状態になり、メモリ設定画面が表示されます。



2 DOWNボタンを押します。

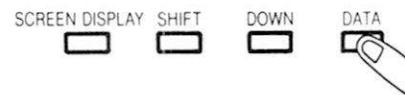
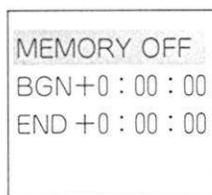
■DOWNボタンを押すごとに次項目へ点滅が移行します。



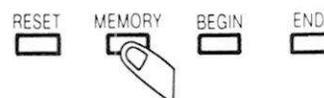
3 DATAボタンまたはMEMORYボタンを押します。

希望のモードに設定します。

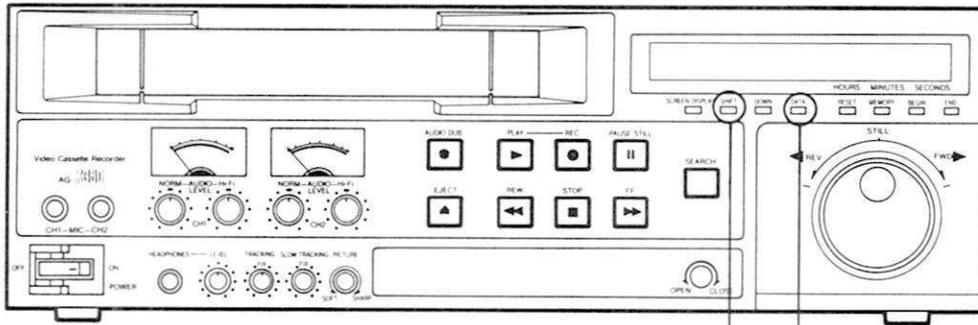
■「MEMORY」項目点滅時のみ有効。



または



MEMORY OFF (消灯) → MEMORY STOP (→000) →
REPEAT 1TIME (↺) → REPEAT CONTINUE (↻)

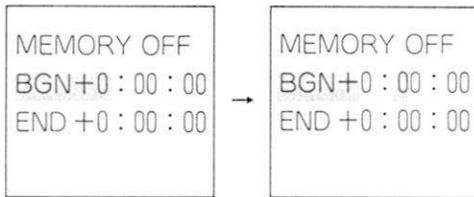
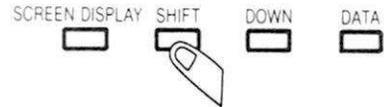


4 5

4 SHIFTボタンを押します。

数値入力時、桁の点滅が移動します。

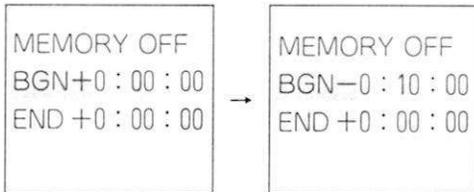
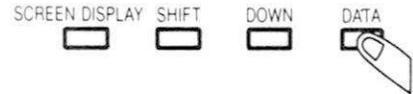
■「BGN」または「END」項目点灯時のみ有効。



5 DATAボタンを押します。

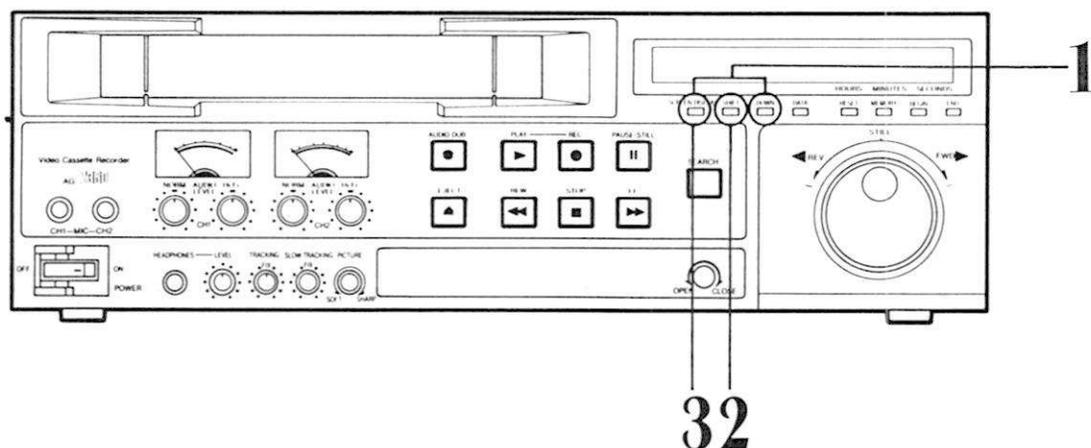
数値入力時、点滅桁の数値増加および「+」、「-」の切換えを行います。

■「BGN」または「END」項目点灯時のみ有効。



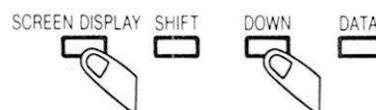
スーパ表示	機能説明
MEMORY OFF	カウンタメモリ機能OFF
MEMORY STOP	カウンタを「0 : 00 : 00」の位置でテープを停止させます。
REPEAT 1 TIME	1回だけのリピート再生を行います。
REPEAT CONTINUE	リピート再生を行います。
BGN	リピート再生時の開始点を設定します。
END	リピート再生時の終了点を設定します。

オンスクリーン(初期設定)機能について



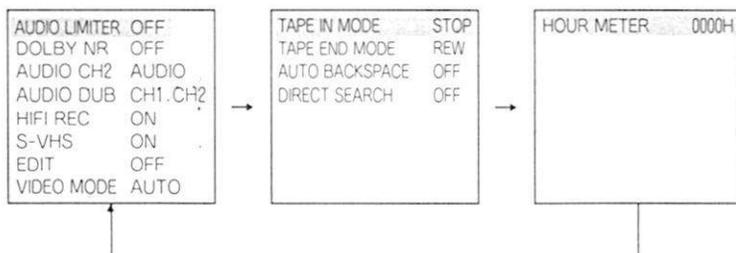
1 SCREEN DISPLAYボタンとDOWNボタンを同時に押します。

■オンスクリーンモード「ON」状態になり、初期設定画面が表示されます。



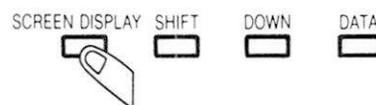
2 SHIFTボタンを押します。

■SHIFTボタンを押すごとに、設定画面が切り替わります。



3 設定終了後、SCREEN DISPLAYボタンを押します。

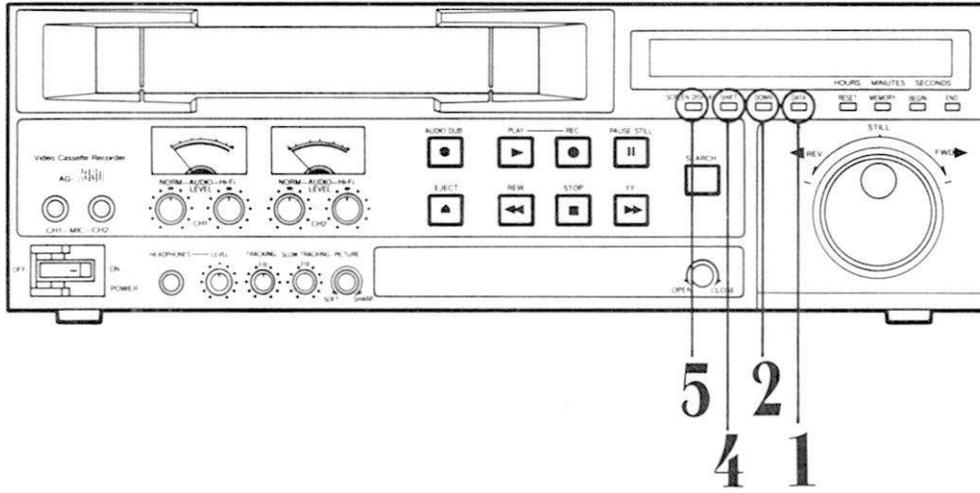
■オンスクリーンモード「OFF」状態になり、モード表示画面以前の画面に戻ります。



ノート

■設定中にSCREEN DISPLAYボタンを押すと、メニュー画面に関係なく通常の画面に戻ります。

■各初期設定項目のモード設定のしかた

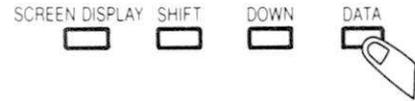


1 DATAボタンを押します。

■「ON」または「OFF」を設定します。

AG-7350	
AUDIO LIMITER	OFF
DOLBY NR	OFF
AUDIO CH2	AUDIO
AUDIO DUB	CH1.CH2
HIFI REC	ON
S-VHS	ON
EDIT	OFF
VIDEO MODE	AUTO

AG-7150	
DOLBY NR	OFF
AUDIO CH2	AUDIO
EDIT	OFF
VIDEO MODE	AUTO



2 DOWNボタンを押します。

■次項目へ点滅が移行します。

AG-7350	
AUDIO LIMITER	OFF
DOLBY NR	OFF
AUDIO CH2	AUDIO
AUDIO DUB	CH1.CH2

AG-7150	
DOLBY NR	OFF
AUDIO CH2	AUDIO
EDIT	OFF
VIDEO MODE	AUTO



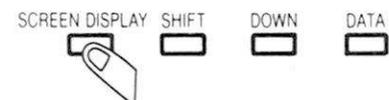
3 1と2を繰り返して、各項目を希望のモードに設定します。

4 設定画面を切り替える場合は、SHIFTボタンを押します。

■各モードの設定は同じく、1と2を繰り返して行います。



5 設定終了後、SCREEN DISPLAYボタンを押します。



オンスクリーン機能

オンスクリーン(初期設定)機能について(つづき)

■各設定項目のモード内容

表示切り替え：DATAボタン、次項目移行：DOWNボタン、メニュー画面変更：SHIFTボタン

スーパー表示	機能説明	初期設定									
AUDIO LIMITER (AG-7350のみ)	AUDIO LIMITER機能を設定します。 ON：記録時に瞬時的に過大入力があっても、自動音声制限回路が働き歪みのない録音が行えます。 (この機能はノーマル音声のみ有効です。) OFF：ダイナミックな音量がそのまま録音されます。	OFF									
DOLBY NR	DOLBY NRシステムを設定します。 ON：DOLBY NRシステムON OFF：DOLBY NRシステムOFF ■DOLBY NRシステムについて <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">PLAY REC</td> <td style="text-align: center;">ON</td> <td style="text-align: center;">OFF</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ON</td> <td>雑音の少ない正常な音声が聞けます。</td> <td>高音が強調されます。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">OFF</td> <td>高音が低下します。</td> <td>正常に聞こえます。</td> </tr> </table> <p>*DOLBY NRシステムはノーマル音声のみ有効です。</p>	PLAY REC	ON	OFF	ON	雑音の少ない正常な音声が聞けます。	高音が強調されます。	OFF	高音が低下します。	正常に聞こえます。	OFF
PLAY REC	ON	OFF									
ON	雑音の少ない正常な音声が聞けます。	高音が強調されます。									
OFF	高音が低下します。	正常に聞こえます。									
AUDIO CH2	音声CH2トラックに何を録音/再生するかを選択します。 AUDIO：オーディオ信号が録音/再生されます。 TIME CODE：タイムコード信号が記録/再生されます。 (音声は消されます。)	AUDIO									
AUDIO DUB (AG-7350のみ)	オーディオ・アフレコをするトラックを設定します。 CH1：音声チャンネル1のみにアフレコされます。 CH1,CH2：両音声チャンネルにアフレコされます。 CH2：音声チャンネル2のみにアフレコされます。	CH1,CH2									
HIFI REC (AG-7350のみ)	Hi-Fi音声を記録するかを選択します。 ON：Hi-Fi音声が記録されます。 OFF：Hi-Fi音声が記録されません。	ON									
S-VHS (AG-7350のみ)	記録モードを設定します。 ON：VHSとS-VHSテープを自動的に判別し、それぞれのモードで記録されます。 OFF：VHSモードで記録されます。	ON									
EDIT	編集モードを設定します。 ON：編集やダビングをする時 OFF：通常の操作	OFF									
VIDEO MODE	入力ビデオ信号のカラーモードを選択します。 COLOR：強制的にカラーモードになります。 AUTO：入力信号により自動的にカラーモードを検出します。 B/W：強制的に白黒モードになります。	AUTO									

表示切り替え：DATAボタン、次項目移行：DOWNボタン、メニュー画面変更：SHIFTボタン

スーパー表示	機能説明	初期設定
TAPE IN MODE	テープ挿入時のVTRモードを選択します。 STOP：テープを挿入すると停止します。 REW：テープを挿入すると巻き戻します。 PAUSE：テープを挿入すると一時停止状態になります。 PLAY：テープを挿入すると自動的に再生が始まります。	STOP
TAPE END MODE	テープ終端到達時のVTRモードを選択します。 REW：テープ終端で自動的に巻き戻します。 STOP：テープ終端で停止します。 EJECT：テープ終端で自動的にテープをイジェクトします。 REW→EJECT：テープ終端で自動的に巻き戻し、テープをイジェクトします。	REW
AUTO BACKSPACE (AG-7350のみ)	オートバックスペース録画機能の設定をします。 ON：PLAY/STILLモード中にRECボタンを押すか、録画中にPAUSE/STILLボタンを押すとテープが約3秒間巻き戻されて待機します。その後、PAUSE/STILLボタンを押すと1秒間再生動作を行ってから録画が開始されます。 OFF：通常のREC/PAUSE操作	OFF
DIRECT SEARCH	ダイレクトサーチモードを設定します。 ON：サーチボタンを押さなくても、サーチダイヤルを操作すると、自動的にサーチモードになります。 OFF：通常のサーチ操作	OFF
HOUR METER	シリンダの動作合計時間が表示されます。	0000H

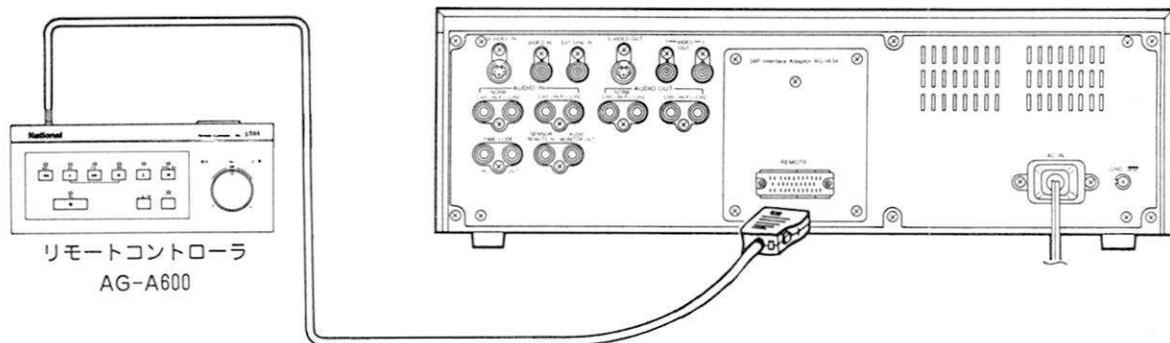
コントローラ(別売品)との接続について

■リモートコントローラAG-A600

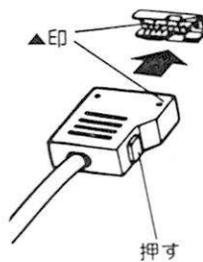
接 続

リモート操作機能はREC、PLAY、FF、REW、PAUSE/STILL、0~11倍速の17モード可変速の送り再生/戻し再生、STOPの各操作ができます。

また、リモートコントローラAG-A600を本機に接続しても、本機の操作ボタンによる操作ができます。



リモコン端子への接続



「▲」印を合わせ、コネクタ側のボタンを押しながらリモコン端子に接続します。

別売品

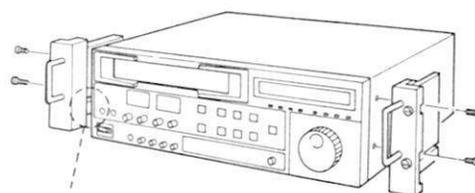
ラックマウントアダプタ (別売品)

本機にラックマウントアダプタAG-M730-Eを取り付けると、EIAJ規格の標準ラックに収納できます。

取付け方法

1 本機側面のネジ(4ヶ所)を外します。

2 同梱のネジでラックマウントアダプタを取り付けます。

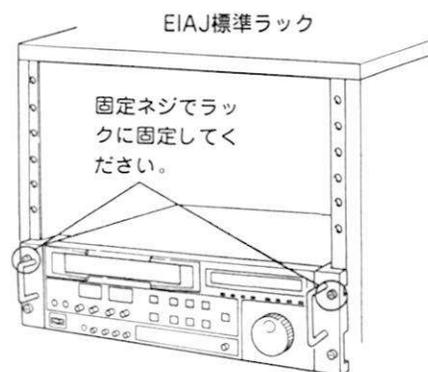


切込み部を下にして取り付けてください。

ラックへの取付

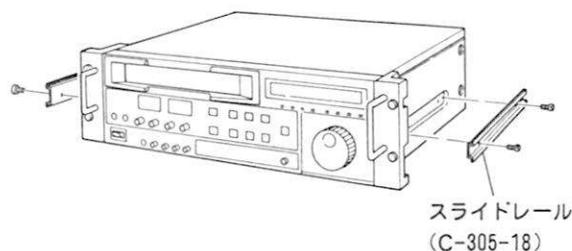
1 本機底面のゴム(4ヶ所)を外します。

2 ラックに収納します。
■ラックの天部に必ず換気ファン(風量3.3m³/秒程度)を取り付けてください。

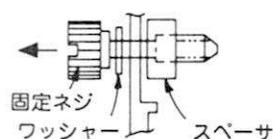


スライドレールの取付

アキュライド社のスライドレール(品番C-305-18)、ブラケット(品番BRA-35-200E)をご使用ください。
(当社では取り扱っていません。)



矢印の方向に引張れば固定ネジは外れます。外した固定ネジ、ワッシャー、スペーサは紛失しないように保管してください。



●詳しくは販売店にご相談ください。

別売品

エラー表示について

カウンタ内にエラーが表示されている場合は、本機になんらかの異常が発生しています。
このような場合は、速やかに操作を止め、下記の内容に従って対処してください。

エラー表示	エラー内容	対 処
d	露付き	電源を入れたまま、エラー表示が消えるまでお待ちください。(下記参照)
E - 2	エレベータ部分の異常	カセットが正しく挿入されていない場合に発生します。 電源を一旦切り、再度電源を投入して、正常に動作するか確認してください。
E - 3	ローディング部分の異常	
E - 4	シリンダ部分の異常	テープに露が付くなど、負荷が重い場合に起こります。 電源を一旦切り、再度電源を投入して、正常に動作するか確認してください。
E - 5	リール部分の異常	
E - 6	テンション部分の異常	

■上記で正常に動作しない場合は、販売店にご相談ください。

「露付き」について

カウンタ内に露付表示「d」が点灯すると、本機内部に露が発生したことを示し、操作ボタンを押しても本機は全く動作しなくなります。
電源を入れたままで「d」表示が消えるまで(2～3時間程度)お待ちください。

露付きが起こるのは……

これは暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴(露)が付くのと同じ原理です。
本機やテープを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 冬期、ストーブなどをつけた直後の部屋。
- 湯気がたちこもる、湿気の多いところ。
- 冷たい所から急に暖かい部屋に持ち込んだとき等。

普通、「露付き」は徐々に進行しますので「露付き」が始まって10～20分間は「d」表示が点滅しないことがあります。
特に部屋の温度や湿度が変わったときは、20分位たってからお使いください。

コネクタの信号について

S-VIDEO IN/OUT 端子

ピン番号	信号内容
1	Y GND
2	C GND
3	Y信号
4	C信号

■AG-7150にはS-VIDEO IN端子はありません。

REMOTE 34P 端子

ピン番号	信号内容
1	REC SWITCH
2	PLAY SWITCH
3	FF SWITCH
4	REW SWITCH
5	STOP SWITCH
6	AUDIO DUB SWITCH
7	PAUSE SWITCH
8	CASSETTE IN
9	AUDIO DUB SWITCH
10	—————
11	—————
12	GND
13	FRAME ADV. SWITCH
14	REVERSE COUNT
15	—————
16	EDIT SWITCH

17	REVERSE
18	CONTROL PULSE OUT
19	REMOTE 19
20	START MARK
21	EJECT SWITCH
22	—————
23	REC HOLD
24	PLAY HOLD
25	FF HOLD
26	REW HOLD
27	—————
28	AUDIO DUB HOLD
29	PAUSE HOLD
30	REMOTE 30
31	AUDIO DUB HOLD
32	—————
33	REMOTE 33
34	+12V

■AG-7150のピン番号1,6,9,23,28,31は未使用です。

機能解説

S-VHSについて



S-VHSビデオ方式とは、全世界に定着したVHSビデオ方式をもとに、さらに高解像度・高画質化技術を駆使して新開発された映像情報化時代のビデオ方式です。

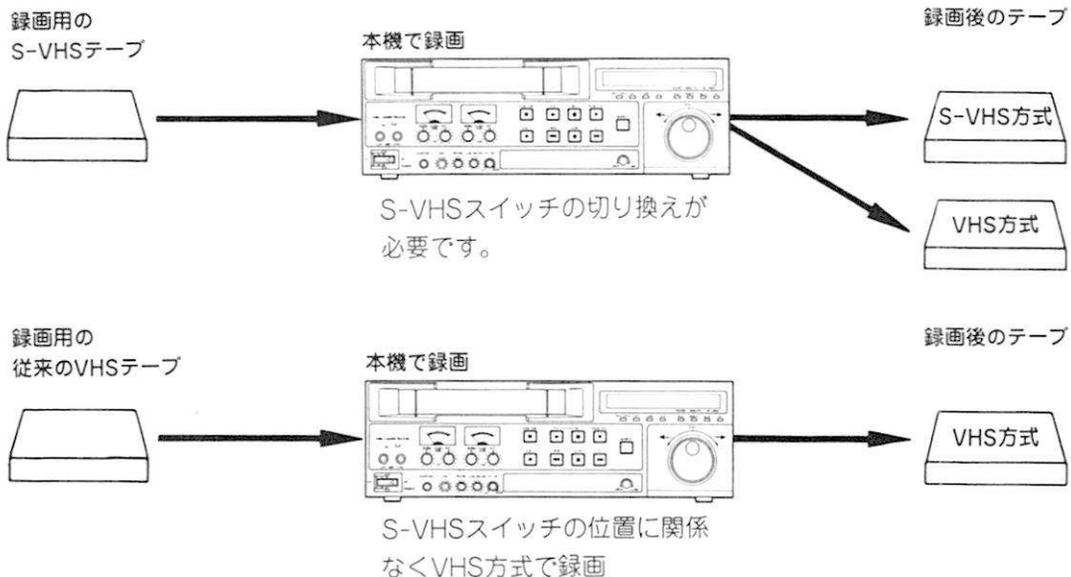
新開発の高性能S-VHSビデオカセットと組み合わせて使用することによって、画期的な画質向上が可能となり、水平解像度400本以上および鮮明でリアルな高画質を実現しました。

S-VHS マークの付いたビデオカセットを使って高画質記録・再生ができるとともに **VHS** マークの付いたビデオカセットでも従来どおり録画・再生がお楽しみいただけます。

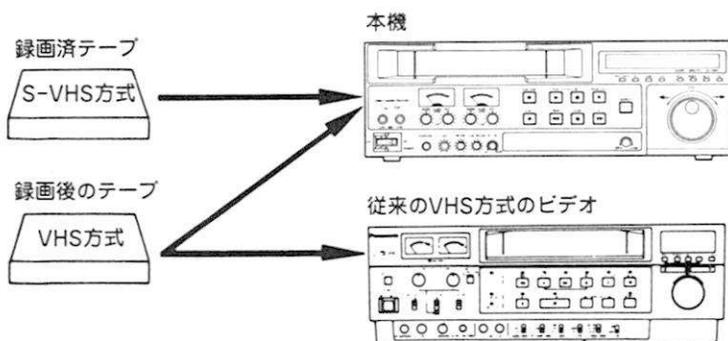
ビデオテープの互換性について

録画時

■AG-7150には録画機能がありません。



再生時



●テープに録画されている方式を自動判別して再生します。

●S-VHS方式で録画されたテープは正常な画面では再生できません。

S-VHS方式とVHS方式の比較

従来のVHS方式に比べて下図のように、

■周波数編移：3.4MHz～4.4MHz



5.4MHz～7MHz

■FM輝度帯域：約3.2MHz～約5.5MHz

■解像度：約240本→400本以上

と、大幅に向上しています。

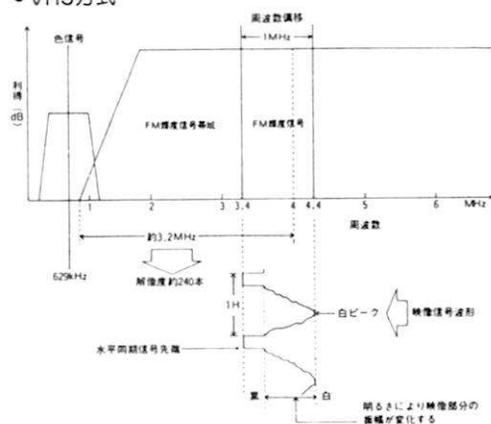
しかし、上記のように帯域を広げると、S/Nがそれに伴って劣化します。

そこで、S-VHS方式ではその劣化を防ぐため以下のように対応しています。

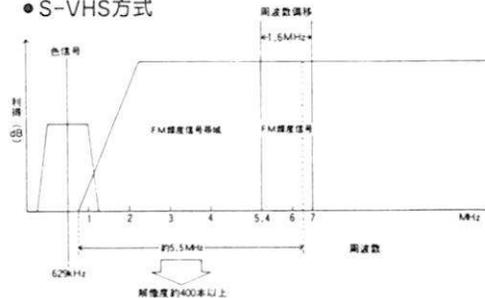
■従来のMAIN Emphasis回路の前段でSUB Emphasis回路を導入

■S-VHSに最適な新開発磁性体のS-VHSテープを採用

●VHS方式



●S-VHS方式



■本機のS-VHS方式で録画したテープは、VHS方式専用のビデオでは再生できません。

しかし、録音方式は従来と互換性があるため、従来のビデオでも再生することができます。また、従来のビデオで録音されたテープも再生することができます。

■他のVHSタイプのビデオレコーダで録画したカセットテープを、再生するときは、標準モードで録画されたテープをご使用ください。また、この場合、静止画・スローモーション・早送り再生および巻戻し再生中にノイズが大きくなる場合があります。

■大切な録画(結婚式など)の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることをご確認ください。

■ビデオカメラ、ビデオおよびテープの使用上、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。

■HQマークの付いたビデオには、VHS高画質技術が採用されています。

■HQマークの付いたビデオで録画されたテープを本機で再生しますと高品位の画質が得られます。なお、従来方式のVHSビデオとは互換性があります。

機能解説(つづき)

Hi-Fiシステム

本機は、次の二つの方法で音声記録できます。

Hi-Fiサウンド録音

音声専用回転ヘッドによるFM録音方式を使い、優れたHi-Fiサウンド音声で録音や再生ができます。

ノーマル音声

従来のビデオと同じ録音方式です。

■従来の録音方式との互換性について

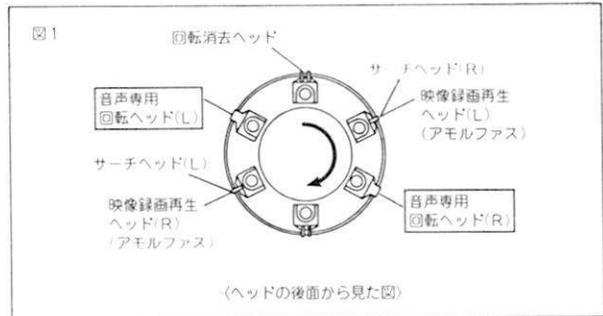
従来どおりの録音(ノーマル)も同時に行えますので、従来のビデオでも再生可能です。

また、従来の方式で記録されたテープの再生も可能です。

以下に、優れた音質を創るHi-Fi方式の特長を説明します。

1)独立した音声専用ヘッドを回転シリンダに搭載

従来、固定ヘッドで記録していたビデオの音声を、回転シリンダに搭載した音声ヘッドで記録します。映像は、専用の映像ヘッドで音声を重ねて記録する全く新しい方式です。図1は回転シリンダに搭載した音声専用回転ヘッドを含むヘッドの配列をあらわしています。

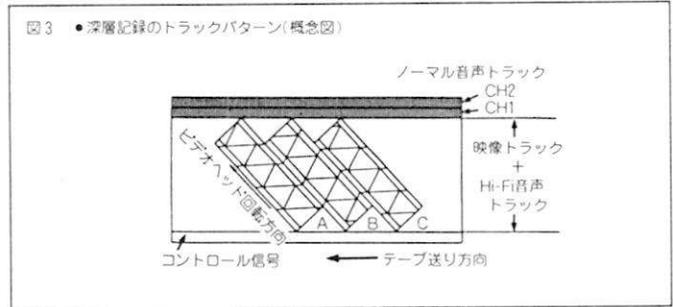
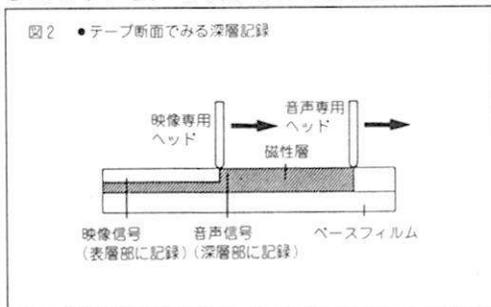


2)独立した音声専用ヘッドを回転シリンダに搭載

新開発のハイファイ音声専用ICにより、入力信号を劣化させることなく最適レベルで信号処理を行い、従来は80dBであったダイナミックレンジを90dBと飛躍的に迫力感を向上させました。

3)映像信号と干渉しあわない音声深層記録

音声専用ヘッドは、周波数帯域の広いFMに変調した信号を、テープ深層部に記録します。その上に、映像ヘッドがアジマス角度をまったく変えて映像を記録します。そのため、記録位置は同じでも互いに信号は干渉しあわず、音声も映像も鮮明に記録できる独自の方式です。(図2、3)



4)スイッチングノイズ低減回路の搭載

音声回路の心臓部であるノイズリダクション部に電子スイッチング回路とアクティブフィルタを内蔵させると共に、さらに音声用コンデンサや低雑音抵抗をレベルセンサ部に採用しました。これにより、音声ヘッド(Hi-Fiヘッド)切り替え時に発生するノイズを大幅に低減することができ、リニアリティーに優れたピュアで透明感のあるクリアなハイファイサウンドを実現しました。

付属品と別売品のご紹介

付属品

- 電源ケーブル
- S-VIDEOケーブル(4P)
- 34ピンインターフェースアダプタ ————— 本機に取り付けてあります。

別売品

- リモートコントローラ ————— AG-A600
- S-VIDEOケーブル(4P) ————— AG-C71A(5m)
AG-C70A(3m)
- ラックマウントアダプタ ————— AG-M730-E
- RS-232Cインターフェースアダプタ ————— AG-IA232TC

カセットテープ

- S-VHSビデオテープ ————— NV-ST120(2時間)
NV-ST60(1時間)
NV-ST30(30分間)

■VHSビデオテープ

ビデオテープ品番			録画・再生時間
標準テープ	スーパーHG	スーパーHG Hi-Fi	標準モード
NV-T160	—————	—————	2時間40分
NV-T120	NV-T120HG	NV-T120HF	2時間
NV-T90	—————	—————	1時間30分
NV-T60	NV-T60HG	NV-T60HF	1時間
NV-T40	NV-T40HG	—————	40分
NV-T30	NV-T30HG	—————	30分
NV-T20	NV-T20HG	—————	20分

ノート

AG-7350/AG-7150は編集コントローラとの接続ができないため、編集システムのソース機として使用することはできません。

- 編集コントローラと使用した場合、サーチダイヤルの急激な回転に追従しないことがあります。
- ソース機として編集精度を求められる場合は、AG-7650を推奨いたします。

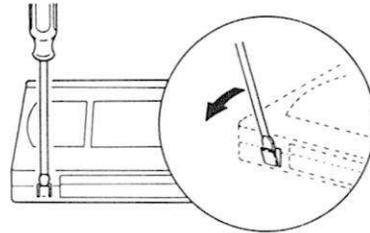
カセットテープについて

使用上のご注意

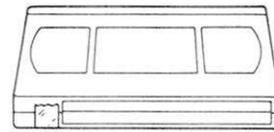
- ビデオカセットは裏返しにしてご使用できません。
- テープは左から右へ巻き取られます。左側のリールにテープがないときは、いったん巻き戻してからお使いください。
- テープを走行させないでビデオカセットを何回も出し入れしないでください。テープが「たるみ」をおこして傷をつけることがあります。

誤記録防止のためには

つめを折ると録画が禁止されます。



つめのないビデオテープに再度記録する場合、折れたつめの部分にセロハンテープを貼ります。



テープを貼る。

取扱い上のお願い

冬場など寒い戸外から急に暖かい室内に持ち込んだときは、テープに露が付くことがあります。2時間ぐらい室内に放置し、露が無くなってからご使用ください。露が付いたままご使用になると、テープを損傷します。

- ビデオカセットの前ふたを開けてテープに手を触れないでください。
- ビデオカセットをぶつかけたり、激しい振動を与えないでください。
- 内部は精密に組立てられていますので、絶対に分解しないでください。
- 露の付いたビデオカセットをヘアードライヤーなどで乾燥させないでください。

保管上のお願い

- ご使用後は必ずテープを左側リールに完全に巻き取ってください。
- ビデオカセットはケースの中に入れ、たてで保管してください。
- ビデオカセットを保管や放置するときは、次の所は避けてください。
 - 強い磁気の近く(トランス、モーター、磁石など)。
 - 湿気やほこりの多いところ。
 - 直射日光や暖房機器の熱が直接あたるところ。
 - 自動車のダッシュボードやリアウインドは絶対に避けてください。

日常点検について

ヘッドクリーニングについて

下のような症状が現れたときは、ビデオヘッドが汚れています。定期的なクリーニングをおすすめします。別売のクリーニングテープ(NV-TCLA)または、専用のクリーニング液をご使用になってビデオヘッドを清掃してください。清掃しても、状態がよくなる場合は購入店にご相談ください。



- ヘッドクリーニングを何度も行うとビデオヘッドの寿命が短くなりますので、ご注意ください。
- ヘッドクリーニングテープには録画することはできません。
- クリーニング液ご使用の場合は、クリーニング部を一度からぶきしてから本機をご使用ください。

お手入れについて

お手入れ前には、電源スイッチを「OFF」にし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。キャビネットの清掃はやわらかい布で行ってください。汚れのひどいときは、台所用洗剤を薄め、布に浸して固く絞って拭きます。汚れを拭き取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。シンナー、ベンジンのご使用にならないでください。

保管について

- 極端に温度の高い場所、低い場所では保管しないでください。
- 屋外に放置することは絶対に避けてください。

故障かな？と思う前に…ちょっと！

下記の項目を点検、調整していただき、それでもなお異常があるときは販売店にご相談ください。

症 状	点検・調整	参照ページ
操作ボタンを押しても動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> ■カウンタ内にエラー表示は出ていませんか？ ■SENSOR RECスイッチが「ON」になっていませんか？ (AG-7350のみ) ■MODE LOCKスイッチが「ON」になっていませんか？ 	48 16, 25 16
録画ができない。 (AG-7350のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ■カセットの「つめ」が折れていませんか？ ■INPUTスイッチの設定は正しいですか？ 	54 17
電源投入時に録画 / 再生が始まる。	<ul style="list-style-type: none"> ■EXT TIMERスイッチが「ON」になっていませんか？ ■SENSOR RECスイッチが「ON」になっていませんか？ (AG-7350のみ) 	16 16, 25
再生がザラザラしている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ビデオヘッドが汚れていませんか 	54
通常再生時、画像の一部がしま状になっている。	<ul style="list-style-type: none"> ■トラッキング調整が合っていますか？ 	20
再生画に色がつかない。	<ul style="list-style-type: none"> ■入力信号はカラーでしたか？ ■オンスクリーン機能のVIDEO MODEが「B/W」になっていませんか？ 	— 44
カウンタの表示が変わらない。	<ul style="list-style-type: none"> ■テープにコントロール(CTL)信号が記録されていますか？ 	—
再生画が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> ■モニターテレビの水平同期ツマミの位置を調整しましたか？ ■録画時に電源電圧の変動が激しくなかったですか？ ■ビデオテープは良好ですか？ ■SYNCスイッチが間違っってセットされていませんか？ 	— — — 17

アフターサービス

アフターサービスについて

1. 保証書一内容のご確認と保存のお願い

保証書は、必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめてお買上げの販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

2. 保証期間—1 年

取扱説明書及び本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき販売店で「無料修理」させていただきます。

保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- (ロ) お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
- (ハ) 尖災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
- (ニ) その他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障及び損傷
- (ホ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
- (ヘ) 別に指定する摩耗性の部品*、あるいは付属品の故障及び損傷

3. 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

4. 修理を依頼される前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、「故障かな!」と思う前に「ちょっと」の項を点検していただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、販売店にお申しつけください。

ご転居・定期保守サービス等ご不明な点は、お買上げの販売店にご相談ください。

※摩耗性の部品とは下記部品類です。

- | | |
|---------|---------|
| ●ビデオヘッド | ●各種ベルト |
| ●ピンチローラ | ●ゴムプリー類 |
| ●各種ブレーキ | ●ローラ類 |
| ●モータ類 | ●ヘッド類 |

定期保守のおすすめ

ビデオは

- 複雑なメカニズムで構成されており、ベルト、ローラ、ヘッドなどが数多く使用されています。
- これら部品は、使用時間が経過するにつれて摩耗劣化し、故障の原因となります。
- また、ほこり、ごみなども安定した機能を妨げ、トラブル発生の原因となります。

このため、単に従来の故障発生時に行うアフターサービスにとどまらず、総合的なサービス、即ちビデオシステムの機能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐために、保守サービス(メンテナンス)を定期的に行うことが非常に大切であるといえます。

定期保守サービス(有料扱い)については、お買上げの販売店にご相談ください。

定 格

一 般

電源	: AC 100V、50/60Hz	
消費電力	: 48W(AG-7350)/35W(AG-7150)	は安全項目です。
録画方式	: 2ヘッドヘリカルスキャン アジマス記録S-VHS/VHS規格	
テープ速度	: 33.35mm/s (SPモード) 11.12mm/s (EPモード)	
使用テープ	: S-VHSテープ、VHSテープ	
録画時間	: 120分 (NV-T120使用時)	
再生時間	: 120分 (SPモード、NV-T120使用時) 360分 (EPモード、NV-T120使用時)	
早送り/巻戻し時間	: 約3分 (NV-T120使用時)	
ヘッド	: 映像; 回転4ヘッド 音声; 回転2ヘッド(Hi-Fi 2ch) 消去; 1フルトラック回転消去ヘッド	
許容相対湿度	: 35%~80%	
許容温度	: 5°C~40°C(動作時)	
外形寸法	: 424(幅)×131.5(高さ)×424(奥行き)mm	
重量	: 約11kg(AG-7350)/約10.8kg(AG-7150)	

映像系

テレビジョン方式	: NTSCテレビジョン方式 525本 60フィールド	
入力/出力 (入力はAG-7350のみ)	: ライン(BNC); 1.0Vp-p, 75Ω 不平衡 S-VIDEO(4P); Y: 1.0Vp-p, 75Ω 不平衡 C: 0.286Vp-p, 75Ω (バースト) 不平衡	
外部同期入力	: BNC ; 4.0Vp-p, 75Ω (負極性) 不平衡	
水平解像度	: VHS ; 白黒300本/カラー240本 S-VHS ; 400本以上(白黒/カラー)	
S/N	: VHS ; 47dB(白黒)/46dB(カラー)	

音声系

入力(AG-7350のみ)	: ライン(ピンジャック) ; -8dBv, 47kΩ 不平衡 マイク(M6) ; -60dBv, 4.7kΩ 不平衡 タイムコード(ピンジャック); 1.0Vp-p, 10kΩ 不平衡	
出力	: ライン(ピンジャック) ; -8dBv, 600Ω 不平衡 モニター(ピンジャック) ; 0dBv, 600Ω 不平衡 ヘッドホン(M6) ; -60dBv~-20dBv, 8Ω 不平衡 タイムコード(ピンジャック); 2.4Vp-p, ローインピーダンス 不平衡	
トラック数	: 4トラック(NORM音声: 2トラック、Hi-Fi音声: 2トラック)	
S/N	: 48dB(Dolby NRスイッチ「ON」、ノーマル音声時)	
Hi-Fiダイナミックレンジ	: 90dB	
音声周波数特性	: 50Hz~12kHz(ノーマル音声) 20Hz~20kHz(Hi-Fi音声)	

*1Vrms=0dBv

MEMO

松下電器産業株式会社 ビデオシステム事業部

〒571 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)901-1161